

平成12年度～

# 消防秋田

創刊 初代編集長 松野 盛吉  
 定価 1部 5円  
 (購読料は年会費に含む)  
 〒010-0001  
 秋田市中區4丁目3番23  
 秋田県消防協会  
 編集長 松野 盛吉  
 電話 018-832-3791  
 FAX 018-834-2706  
 〒010-0951  
 秋田市中區丁丁目5番5-29  
 株式会社 松野印刷社  
 電話 018-862-8760

平成十二年度全国統一防火標語  
**火をつけた  
 あなたの責任  
 最後まで**

## 平成十一年度 消防功勞者表彰式

三月二十七日 秋田県正庁

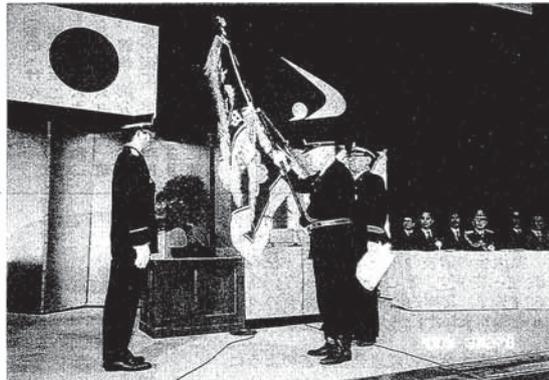


秋田県・秋田県消防協  
 会では、平成十一年度消  
 防功勞者表彰式を三月二  
 十七日午後二時から県庁  
 正庁において開催した。  
 この表彰式では、平成  
 十一年における年間無火  
 災を達成した飯田川町ほ  
 か三町村及び優良消防機  
 関として三消防団に秋田  
 県知事表彰並びに年間無  
 火災を達成した四消防団  
 に対し秋田県消防協会長  
 表彰を行った。  
 同時に、去る二月九日  
 東京都虎ノ門日本消防会  
 館ニッショウホールにお  
 いて授与された日本消防

協会長表彰、また、三月  
 八日同所で授与された消  
 防庁長官表彰の伝達が行  
 われた。  
 晴れの空の栄に浴さ  
 れた消防機関及び消防関  
 係者は次のとおりであり  
 ます。

- 秋田県知事表彰**
- 優良消防機関
    - 能代市消防団
    - 大潟村消防団
    - 雄物川町消防団
  - 功勞賞
    - 仙南村消防団
    - 仙南村消防団 団長 伊藤 廣造
    - 秋田市消防本部
    - 消防監 越後屋達夫
  - 永年勤続功勞章
    - 秋田市消防本部
    - 消防司令長 畑 勝政
    - 消防司令 千葉 謙一
    - 五城目町消防本部
    - 消防司令 渡邊 良夫
    - 消防司令 川口 正勝
    - 鷹巣町仁徳町村組合消防本部
    - 消防司令長 村上 直志
    - 飛地地区消防一部署消防本部
    - 消防司令 後藤 悦信
    - 二ツ井藤里地区消防本部
    - 消防司令 石川 稔
    - 消防司令 半田嘉比呂
    - 湯澤地区消防一部署消防本部
    - 消防司令 鈴木 吉美
    - 阿部地区消防一部署消防本部
    - 消防司令 齋藤 信夫
    - 矢島地区消防一部署消防本部
    - 消防司令 佐藤 文男
    - 大曲北地区消防一部署消防本部
    - 消防司令 藤波 和夫
    - 大曲北地区消防二部署消防本部
    - 消防司令 川村 弘毅

- 功勞賞**
- 湯澤地区消防一部署消防本部 消防司令 長澤 昭二
  - 秋田市消防団 副団長 佐藤 鈴雄
  - 秋田市消防団 副団長 長谷部宜治
  - 能代市消防団 副団長 幸坂 正
  - 能代市消防団 副団長 鎌田 新一



- 表彰旗**
- 横手市消防団 副団長 太田 悦郎
  - 横手市消防団 副団長 藤谷 正作
  - 大館市消防団 副団長 菅原 利雄
  - 横手市消防団 副団長 富樫治郎雄
  - 天王町消防団 副団長 菊地 進
  - 井川町消防団 副団長 安田 實
  - 若美町消防団 副団長 吉岡 勝美
  - 大潟村消防団 副団長 菅生 金作
  - 河辺町消防団 副団長 関 一男
  - 雄和町消防団 副団長 酒井重郎
  - 矢島町消防団 副団長 佐藤 近美
  - 岩城町消防団 副団長 乙藤 舜
  - 神岡町消防団 副団長 細谷 正利
  - 西仙北町消防団 副団長 高橋 秀壽
  - 角館町消防団 副団長 戸澤 幹夫
  - 六郷町消防団 副団長 坂本 盛一
  - 中仙町消防団 副団長 富岡 弘
  - 田沢町消防団 副団長 大澤 太郎
  - 平鹿町消防団 副団長 浅倉右衛門
  - 雄物川町消防団 副団長 安部 幸清
  - 大森町消防団 副団長 赤川 順一
  - 大森町消防団 副団長 壽松 俊一
  - 大森町消防団 副団長 野口 久勝
  - 羽後町消防団 副団長 菅野 辰男

- 大曲市消防団** 分団長 渡藤 孫左門  
**鷹巣町消防団** 分団長 米澤 正一  
**比内町消防団** 分団長 嶋田 久成  
**田代町消防団** 分団長 田村 幸夫  
**合川町消防団** 分団長 藤田 勝義  
**八森町消防団** 分団長 石岡 隆士  
**八電町消防団** 分団長 清水 末藏  
**五城目町消防団** 分団長 工藤 紀元  
**昭和田消防団** 分団長 澤井昭一郎  
**八郎潟町消防団** 副団長 吉田 一男  
**飯田川町消防団** 副分団長 富樫治郎雄  
**天王町消防団** 分団長 菊地 進  
**井川町消防団** 分団長 安田 實  
**若美町消防団** 副分団長 吉岡 勝美  
**大潟村消防団** 副分団長 菅生 金作  
**河辺町消防団** 副分団長 関 一男  
**雄和町消防団** 副分団長 酒井重郎  
**矢島町消防団** 副分団長 佐藤 近美  
**岩城町消防団** 副分団長 乙藤 舜  
**神岡町消防団** 副分団長 細谷 正利  
**西仙北町消防団** 副分団長 高橋 秀壽  
**角館町消防団** 副分団長 戸澤 幹夫  
**六郷町消防団** 副分団長 坂本 盛一  
**中仙町消防団** 副分団長 富岡 弘  
**田沢町消防団** 副分団長 大澤 太郎  
**平鹿町消防団** 副分団長 浅倉右衛門  
**雄物川町消防団** 副分団長 安部 幸清  
**大森町消防団** 副分団長 赤川 順一  
**大森町消防団** 副分団長 壽松 俊一  
**大森町消防団** 副分団長 野口 久勝  
**羽後町消防団** 副分団長 菅野 辰男

- 日本消防協会会長表彰**
- 大曲町仁徳町村組合消防本部 消防司令長 木村 博博
  - 湯澤地区消防一部署消防本部 消防司令 上杉 勝利
  - 湯澤地区消防二部署消防本部 消防司令長 高橋 達雄
  - 秋田市消防団 副団長 水澤 勤
  - 秋田市消防団 副団長 柏谷 勲
  - 本荘市消防団 副団長 柳原 幸一
  - 大曲市消防団 副団長 佐藤 登
  - 横手市消防団 副団長 大部 隆一
  - 小坂町消防団 副団長 成田 俊昭
  - 鷹巣町消防団 副団長 清水 修智
- 秋田県消防協会会長表彰**
- 比内町消防団 副団長 小松 永悦
  - 琴丘町消防団 副団長 小玉 運市
  - 藤里町消防団 副団長 伊藤 礼一
  - 八郎潟町消防団 副団長 村井 昇
  - 天王町消防団 副団長 鎌田 健一
  - 雄和町消防団 副団長 酒井重郎
  - 仁賀保地区消防 副団長 佐藤 勝男
  - 大内町消防団 副団長 岡見 良治
  - 西仙北町消防団 副団長 内藤 惣一
  - 六郷町消防団 副団長 坂本 盛一
  - 仙南村消防団 副団長 伊藤 福章
  - 平鹿町消防団 副団長 石山 関一
  - 雄物川町消防団 副分団長 藤原 政男
  - 山内町消防団 副分団長 高橋 邦生
  - 羽後町消防団 副分団長 佐藤 充治
  - 皆瀬村消防団 副分団長 阿部 廣昭
  - 秋田市消防本部 消防司令 畑 勝政
  - 秋田市消防本部 消防司令 千葉 謙一



株式会社 **協立** 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846  
 TEL (0185) (52) 6361  
 (52) 6494

森田ポンプ 各種消火器  
 ラビットポンプ 消防被服一式  
 ボンブ自動車 消防機器一式

トーハツ消防ポンプ 各種消火器  
 モリタ自動車ポンプ 各種消火器  
 消防被服 各種消火器  
 秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 **高義商会**

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ 各種消火器  
 モリタ自動車ポンプ 各種消火器  
 エット服 各種消火器  
 消防被服 各種消火器  
 火災報知器 各種消火器

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL(0183) (42) 2125  
 〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182) (42) 0032  
 〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73) 2588

地域の防災、災害対策に貢献!

**消防** ポンプ自動車 小型ポンプ ポース  
**設備** 火災報知器 スプリンクラー 消火器

株式会社 **猿田興業株式会社**

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
 猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651



# 消防秋田

〒010-0001 秋田市中通4丁目3-23  
 秋田消防協会  
 電話 018-832-3791  
 FAX 018-834-2706  
 〒010-0051 秋田山王三丁目5-29  
 秋田消防協会 印刷部  
 電話 018-892-6760

平成十二年度全国統一防火標語  
**火をつけた  
 あなたの責任  
 最後まで**

## 平成12年 春の叙勲発表 消防功労者 本県は14名受章

平成十二年の春の叙勲は、恒例により、みどりの日の四月二十九日に発表された。この度、本県消防関係者で栄誉に輝いた方は、勲五等双光旭日章一名、勲五等瑞宝章四名、勲六等単光旭日章八名、勲六等瑞宝章一名の計十四名であります。

この伝達式は、五月一日(月)午後二時三十分から秋田ビューホテルで行われ、寺田知事から伝達されました。また、受賞者の方々は五月十日(水)東京都港区虎ノ門日本消防会館ニッショウホールにおいて行われた消防庁主催の式典に出席されました。

水年の功勞により、受章の榮譽に浴された方々は次の皆様であります。

心からお祝いを申し上げます。

- |                 |   |
|-----------------|---|
| <b>勲五等双光旭日章</b> | 元大館周辺広域市町村<br>消防組合消防監<br>秋 元 五 郎 71<br>消防歴 42年11月 |
| <b>勲五等瑞宝章</b>   | 元昭和町消防団副団長<br>川上 兼 治 76<br>消防歴 57年2月              |
|                 | 元雄浜村消防団副団長<br>木 藤 正 一 70<br>消防歴 44年7月             |
|                 | 元井川町消防団副団長<br>小 玉 作 治 83<br>消防歴 31年4月             |
|                 | 元大曲市消防団副団長<br>古 屋 稔 72<br>消防歴 51年0月               |
| <b>勲六等単光旭日章</b> | 元菅野村消防団副団長<br>阿 部 辰 治 71<br>消防歴 53年0月             |
|                 | 元横手市消防団副団長<br>伊 藤 清 一 73<br>消防歴 42年0月             |
|                 | 元神岡町消防団副団長<br>久 米 川 喜 一郎 71<br>消防歴 51年4月          |
|                 | 元羽後町消防団副団長<br>仙 道 久 司 70<br>消防歴 47年8月             |
|                 | 元元田町消防団副団長<br>高 田 房 雄 71<br>消防歴 44年9月             |
|                 | 元若美町消防団副団長<br>中 田 清 文 72                          |
| <b>勲六等瑞宝章</b>   | 元比内町消防団副団長<br>荒 谷 金 治 75<br>消防歴 38年9月             |



### 第54期 消防職員初任教育入校式

平成十二年度秋田県消防学校消防職員初任教育(第五十四期)入校式が四月十一日午前十一時、消防学校屋内訓練場において、県内各消防本部から三十八名の入校生を迎え、佐藤正夫秋田県出納

### 秋田県消防学校

この初任教育は、各消防本部の新採用消防職員に対し、消防職責として必要知識・技能の修得と強い精神力・体力を養成するための行うものである。

入校式は、入校生の発表から「チャレンジ精神を大いに発揮され、失敗をおそれることなく何事にも先ん

じて数多くの経験を積んでほしい」と式辞があったのち、佐藤出納長から「先輩に負けない若さ溢れる消防の担い手となれることを期待する」との励ましの言葉がおくられた。次に、来賓として出席した秋田県消防協会会長から「秋田県の将来の担う消防の若武者が、今日からスタートすると思ふ」と誠に心強いと、また高橋秀夫秋田市消防長からそれぞれ祝辞をいただいた。

続いて、入校生を代表して大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の高野和春消防士が「規律ある学生生活を通じて、勉学研修に励み、

係者百名が出席して開催された。

総会では、殉職消防職員の御霊に黙祷を捧げた後、石川誠治秋田市消防局長が歓迎のあいさつ、ついで伊藤徹男支部長(仙台市消防局長)から開会の挨拶があった。

恒例の定例表彰では、二名に感謝状が、また、永年勤続功労者三十八名を表彰し、秋田市消防本部副参事保坂喜久雄消防司令が代表して、伊藤支部長から表彰状を受理した。

次に、寺田秋田県知事、池田春雄全国消防長会

全国消防長会東北支部の平成十二年定例会が、四月二十六日午前十時から秋田市のホテルメトロポリタン秋田で、東北六県と新潟県を含む七県の消防長など関係者約二百名が出席して開催された。

その後、第二回全国消防長会東北支部消防職員意見発表会が行われ、各県代表の七人の消防職員が五分間の制限時間で、消防実務を通じて実際に体験し感じた生命の尊さ、消防行政上の課題、職務に対する熱意等を発表した。

本県からは、さる二月の県大会で代表となった大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の小松知巳消防士が「舞台からのメッセージ」と題して発表し審査の結果、最優秀賞に選ばれ、六月一日神戸市で開催される全国大会に東北代表として出場することとなった。

続いて、総会は高橋秀夫秋田市消防局長が議長となり事業報告などの議案審議を行ったが何れも原案どおり可決して午後四時全日程を終了した。

森田ポンプ  
 桜ホース・ソフト吸着各種消火器

ラビットポンプ  
 消防被服一式  
 消防機器一式

株式会社 協立  
 株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846  
 TEL (0185) (52) 6361  
 (52) 6494

トーハツ消防ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ  
 消防被服 全理  
 消防 秋 田 県 代

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ  
 エットホー全各種  
 消防被服 各種  
 消防器具 各種  
 消防火器 各種

〒012-0111 本社 秋田県川町 TEL(0183) (42) 2125  
 〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182) (42) 0032  
 〒012-0544 湯沢市町町 TEL(0183) (73) 2588

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車  
 小型ポンプ  
 ホース

火災報知器  
 スプリンクラー  
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL.018 (863) 1551代  
 猿田興業ビル7F FAX018 (824) 3651

新消防長紹介

鹿角広域行政組合  
消防本部消防長  
消防監 児玉弘志



(ただま・ひろし)  
昭和十八年十月二十二日生まれ、五十六才。昭和四十二年一月一日花輪町職員、昭和四十七年四月一日鹿角市職員、主査、課長補佐、企画部秘書広報課長、総務部総務課長、総務部企画課長、平成十一年四月一日鹿角広域行政組合派遣消防本部次長兼総務課長、本年四月一日付で消防長に就任した。

大館周辺広域市町村圏組合  
消防本部消防長  
消防監 奥村秀夫



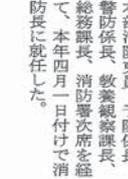
(おくむら・ひでお)  
昭和十五年四月二十日生まれ、六十才。昭和三十四年七月五日大館市消防署、昭和四十八年四月一日大館周辺広域市町村圏組合消防吏員、北分署長、消防署副署長、署長、消防本部次長を経て、本年四月一日付で消防長に就任した。

山本郡南部地区  
消防本部消防長  
消防監 田中宣夫



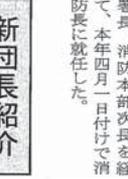
(たなか・のりお)  
昭和二十五年十一月二日生まれ、四十九才。昭和四十四年四月一日東京消防庁消防吏員、昭和四十六年八月一日山本郡南部地区消防本部消防吏員、予防係長、警防係長、教養課長を経て、本年四月一日付で消防長に就任した。

湯沢雄勝広域市町村圏組合  
消防本部消防長  
消防監 宮原遼夫



(みやはら・すみお)  
昭和十九年八月七日生まれ、五十五才。昭和四十年二月一日湯沢消防署、昭和四十六年七月一日湯沢雄勝広域市町村圏組合消防吏員、雄勝分署長、消防本部予防係長、総務課長、消防署長、消防本部次長を経て、本年四月一日付で消防長に就任した。

平鹿郡大森町消防団  
団長 福業盛栄



新団長紹介



(いなば・せいいち)  
昭和二十四年七月二十七日生まれ、五十一才。昭和四十八年四月一日秋田県職員、雄勝福祉事務所、呉児童家庭課、障害福祉課、福祉企画課、平成七年四月一日大森保青園園長、平成十二年四月十日大森町消防団入団、同日団長に就任した。(保育園園長)

消防学校に入校して

消防職員初任教育第五十四期生  
湯沢雄勝広域消防本部  
消防士 高橋 靖

消防学校に入校し、まだ不慣れな点はあるものの、毎日の生活に新鮮さを感じながら頑張っています。研習での同僚との生活は勿論、消防という仕事を取り巻く法律や訓練儀式の存在等、初めて知ることの多さに戸惑いながらも、気を引き締めて臨まなければなりません。消防の仕事は肉体的にも精神的にも強さが要求されます。そして様々な知識と経験を自信に変えて危険に立ち向かう仕事です。しかし、現在の私には残念ながら、消防に関する経験も無ければ基礎的な知識もありません。消防学校に入校し、現場に通用する基礎的な知識の習得を当面の目標として、これからの生活では、より多くの知識と経験を身につけるということに、私は意欲を燃やして取り組んでいくつもりです。また、消防学校での訓練や研習での生活を通して、一人でも多くの友人をつくり、沢山の泣き笑いができればいいとも考えておられます。そして、この消防学校での出来事、思い出を何年後に笑いながら話すことができたら、あるいは困った時や悩んだ時、親身になって相談することの出来る友人が、この消防学校の同僚となることを期待し、学校生活を送っていきたくです。

消防学校に在る間に、現場では先輩方が毎日頑張っています。このことを私自身常に忘れず、毎日の訓練に真剣に取り組み、最後には現場で役に立つ消防士になれる様な基礎的な知識を身に付けること、同僚という財産を胸に、人間のにも強く大きく成長して現場に臨める様、日々努力していきたいと考えておられます。

消防回員のための教育訓練のあり方に関するアンケート調査結果(2)

全国の消防団(100団対象、回収数96団)に対するアンケート

消防団員の入団時の教育訓練についてお聞きします。

問1 あなたの消防団では、新入団員に対する教育訓練をどのような時期に行っていますか。

選択肢	合計
1 新入団員が入団するつど実施している	25
2 新入団員が一定の数になった時に実施している	5
3 1年に1度実施している	50
4 特の実施していない	8
5 その他(年6回、年4回、年2回、2年1回、随時)	8
6 無回答	0

問2 あなたの消防団では、新入団員に対する教育訓練をどのように行っていますか。

選択肢	合計
1 消防学校に入校させて普通教育を受けさせている	13
2 消防学校のほか消防本部及び消防団で教育訓練を行っている	16
3 消防学校のほか市町村及び消防団で教育訓練を行っている	6
4 消防本部及び消防団で教育訓練を行っている	28
5 市町村及び消防団で教育訓練を行っている	20
6 その他(消防団、学校と団、県協会、市防災センター等)	9
7 無回答	4

問3 略  
問4 略

問5 新入団員教育でテキストを使っていますか

選択肢	合計
1 定められたテキストを使っている(がんばれ消防団等)	20
2 定められたテキストはないが、その都度作成したものを使っている	42
3 テキストを使っていない	29
4 無回答	5

問6 消防団の中で新入団員の指導者は、主としてどの階級にある者を充てていますか

選択肢	合計
1 分団長	47
2 副分団長	7
3 部長	10
4 班長	4
5 先鋒団員	10
6 その他(団長、副団長、特に決めていない等)	5
7 無回答	13

問7 新入団員の教育訓練の実施機関・方法について、本来どうあるべきかお聞きします。このことについて、あなたの消防団は、次のうちのどの考え方に近いですか

選択肢	合計
1 消防学校に入校させるのがよい	21
2 消防学校と地元の消防本部等(消防本部・市町村、消防団をいう)で実施するのがよい	42
3 地元の消防本部等で実施するのがよい	29
4 その他(消防団、その他)	2
5 無回答	2

以下、一般的な消防団員の教育訓練についてお聞きします

問8 消防団員の年間教育計画は、実質的にどこで策定していますか

選択肢	合計
1 消防団が策定している	16
2 消防団が消防本部等と協議して策定している	14
3 消防本部が消防団の意見を聞いて策定している	36
4 市町村が消防団の意見を聞いて策定している	26
5 その他(策定していない、その他)	3
6 無回答	1

問9 あなたの消防団では、新入団員教育以外にどのような教育訓練あるいは研修を実施していますか

(なし-18)  
幹部研修-30 ポンプ操法訓練-20 救急研修-24 規律訓練-21 交通研修-9 救助研修-6 防犯訓練-9 機関研修-16 防災(水防)訓練-11 女性団員研修-3 その他-26

問10 略

問11 あなたの消防団では、今後次のうちのどの教育訓練を充実すべきだと思いますか。特に重要と思うものを3つ選んでください。

選択肢	合計
1 ポンプ操法	31
2 実践的防災防ぎ訓練	55
3 山林火災、風水害及び土石災害等特殊災害対応訓練	42

問12 阪神・淡路大震災以降、大震災時の消防団活動の重要性が指摘され、様々な対応策が取られていますが、あなたの消防団では、大震災以降、次のどのような教育訓練を実施しましたか。実施したものに○をつけて下さい。

選択肢	合計
4 応急救護訓練	47
5 災害発生危機箇所など地域特性の把握	15
6 災害出動時の交通事故防止等の安全管理教育	27
7 防火診断等火災予防の住民指導要領	16
8 大規模地震発生時の活動要領	38
9 その他(救助訓練、自主防止指導育成要領)	2
10 無回答	0

問12 阪神・淡路大震災以降、大震災時の消防団活動の重要性が指摘され、様々な対応策が取られていますが、あなたの消防団では、大震災以降、次のどのような教育訓練を実施しましたか。実施したものに○をつけて下さい。

選択肢	合計
1 同時多発火災を想定した火災防ぎ訓練/図上訓練	22
2 他機関との連携訓練	28
3 地域の特性に応じた遠距離送水訓練	40
4 救助資器材の取扱訓練	16
5 応急手当・救命講習等	65
6 震災対策についての住民指導要領の講習	6
7 その他(講習会、通信訓練、震災時火災想定訓練等)	9
8 特になにもしていない	8
9 無回答	0

**株式会社タカギ**  
秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
トータツポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守点検

キンパイホース  
シバウラポンプ  
各種消火器

消防団員のための  
**消防互助年金**

10年確定年金  
10年保証終身年金

特別年金  
年金は毎年3%複利で増増

年金開始前の死亡・解約一時金

加入申込みは消防事務担当へ

消防半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

**寺田染工場**

横手市清川町 ☎32-0416



平成12年度の秋田県消防協会代議員会が、五月二十二日午後、時三十分から秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、来賓及び代議員など十五名が出席して開催された。奥山副会長が開会を宣言し、殉職消防団員の御霊に黙とうを捧げた。柴田康二郎会長が開会の挨拶をした。次に佐藤正夫秋田県出納長と佐藤次男秋田県議会議長、境委員、秋田県警本部長(代表)から、祝いの言葉があり、恒例により柴

# 平成12年度 秋田県消防協会代議員会開催 事業計画及び予算決定

田会長が議長となり、議事録署名委員に大湯村消防団長富田博文氏と増田町消防団長松井剛一氏を指名して、各議案を審議した。その結果、次の決算関係承認議案及び予算関係議案は、何れも原案とおり可決承認され、苗苗副会長の閉会の言葉で代議員会を終了した。またそのあと、消防互助金の普及と積極的な加入促進にあたり平成11年度で加入率三割までは一割を達成した藤里町消防団、西目町消防団、矢島地区消防本部及び鳥海町消防団に柴田会長から感謝状が贈られた。

一 平成11年度事業の概要報告について  
 二 平成11年度一般会計決算承認について  
 三 平成11年度消防会館特別会計決算承認について  
 四 平成11年度特別会計罹災互助会決算承認について  
 五 平成11年度特別会計罹災互助会共済積立金決算承認について  
 六 監事の監事報告は、小松清記西木村消防団長が行った。  
 七 予算関係議案  
 一 平成12年度事業計画(案)について  
 二 平成12年度支部分担



〒010-0001 秋田市中通4丁目3-23  
 秋田県消防協会 会館 第二階  
 電話 018-832-9791 FAX 018-834-2706  
 〒010-0951 秋田山王7丁目5-29  
 株式会社 松原印刷社  
 電話 018-882-8760

平成12年度全国統一防火標語  
**火をつけた  
 あなたの責任  
 最後まで**

## 平成12年度消防協会事業計画

事業項目	実施内容	実施時期
1. 会 議	次の会議を開催し、会の進展をはかる。 ① 正副会長会議 ② 役員会 ③ 代議員会 ④ 罹災互助会審議委員会 ⑤ 支部事務担当者会議	随時 4月 平成12年5月22日 平成12年4月21日 平成12年6月6日
2. 表 彰	1. 次により団体及び個人を表彰する。 ① 精勤、勤続、功勞、顕功の各表彰 ② 現場功勞表彰、協力者表彰 ③ 優良消防機関 2. 日本消防協会表彰の申請及び伝達 3. 無火災消防団の表彰	平成13年1月間 " " 平成13年3月 "
3. 弔 慰 見 舞	1. 規定による次の見舞金を贈呈する。 ① 弔慰見舞(弔慰救済金) ② 傷見舞(弔慰見舞) ③ 罹災見舞(罹災互助会) 2. 殉職消防団、団員の慰霊祭を執行する。	年 間 " " 平成12年9月22日
4. 無火災県民運動の推進	1. 新聞「消防秋田」毎月1回発行する。(3,400部) 2. 次により一般県民の防火思想の普及向上をはかる。 ① 火災予防運動の推進 ② 防火ポスターの配布 ③ 防火フィルムの貸出 ④ 防火作品(ポスター)の募集 ⑤ 防火弁論大会の開催助成 ⑥ 防火座談会の開催助成 ⑦ 地域防火協議会の開催助成 ⑧ 火災予防団体の指導育成	毎 年 " " 月 間
5. 教 養 研 修	次の研修を実施し、知識技術の向上をはかる。 ① 消防団員の教養研修 ② 消防団員指導員研修(日本消防協会委託)	年 間 平成12年11月7~9日
6. 秋田県消防大会	消防の士気の高揚と消防技術の研修及び消防体制の強化をはかるため、横手市において第53回秋田県消防大会を開催する。	平成12年7月6日
7. 秋田県消防操法大会	消防の士気の高揚と消防規律、技術の練熟向上をはかるため、各支部操法大会・秋田県消防操法大会を開催する。	平成12年6月~ 9月5日
8. 福利厚生事業協力	日本消防協会の福利厚生事業に協力する。 ① 消防団員福祉共済制度の推進 ② 全日本消防人火災共済会への加入促進 ③ 消防互助会制度への加入を消防団の福利厚生の増進のため促進する。 ④ 婦人消防団員福祉共済制度の推進	年 間

金の徴収額(案)について  
 三 平成12年度一般会計  
 四 平成12年度消防会館  
 五 平成12年度特別会計  
 六 補正予算の委任(案)  
 七 暫定予算の委任(案)  
 八 年度内一時借入(案)  
 九 監事補充の委任(案)



○協議(報告)事項について  
 一 第六次全国女性消防団員  
 活性化北海道大会について  
 二 第五十三回秋田県消防  
 大会について  
 三 第三十七回秋田県消防  
 操法大会について  
 四 第十七回全国消防操法  
 大会について  
 五 消防互助年金の加入促  
 進について  
 六 福祉共済及び火災共済  
 の共済金支払状況について  
 七 消防会館の運営につい  
 て  
 八 有珠山噴火に伴う地元  
 消防団活動に対する支援金  
 について

平成11年度各会計収支決算額一覧 (単位:円)

会計名	収入金額	支出金額	収支差額	備 考
一 般 会 計	20,931,514	20,579,556	351,958	次期繰越
消防会館特別会計	49,637,542	49,320,783	1,808,473	"
特別会計罹災互助会	16,107,799	16,107,799	0	
特別会計罹災互助会 共 済 積 立 金	112,805,054	8,496,650	104,308,404	

平成12年度各会計収支予算額一覧 (単位:円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
一 般 会 計	21,850,058	19,539,927	2,310,131	
消防会館特別会計	43,076,873	49,614,364	△6,537,491	
特別会計罹災互助会	9,410,000	16,132,300	△6,722,300	

**消防団員のための  
 消防互助年金**

10年確定年金  
 10年保証終身年金  
 特別年金  
 年金は毎年3%  
 複利で増増

年金開始前の死亡・解約に一時金  
 加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ ラビットポンプ  
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立  
 株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846  
 TEL (0185) (52) 6361  
 (52) 6494

トーハツ消防ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
 消防被服全般  
 秋田県代理店

株式会社 高義商会

トーハツ小型動力ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ  
 ジェットホース  
 消防被服全般  
 火災報知器各種  
 消火器各種

(営業種目)

〒012-0111 本社 秋田県横川町 TEL(0183)(42)2125  
 〒018-0504 十文字町本町 TEL(0182)(42)0032  
 〒012-0844 湯沢市市町 TEL(0183)(73)2588



# 消防秋田

〒010-0001 秋田市中通4丁目3-28  
秋田県消防協会  
会長 藤田 正三郎  
電話 018-832-3791  
FAX 018-834-2706  
印刷 〒010-0951 秋田県山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760

## 雨の中消防救助技術を競う 第二十九回消防救助技術 秋田県大会が開催される

六月二十七日 県消防学校



六月二十七日(火)由利郡岩城町の秋田県消防学校において、秋田県消防協会が主催する「第二十九回消防救助技術秋田県大会」が開催された。

この大会は、各種災害現場における救助技術の向上と、いかなる災害活動にも耐える強靱な体力と精神力を養うことを目的として、毎年開催されている。

この日は、朝から小雨が降りだす悪条件下での訓練となったが、東北大会の予選を兼ねた大会とあって、県内十六消防本部から出場した二四三六名の精鋭が日頃鍛えた救助技術を披露した。

開会式は、柿田司大会副会長の開会宣言で始まり、高橋秀夫大会会長から激励をこめた挨拶が

あつたのち、山崎堅治審判長から訓練上の指示事項が述べられ、続いて出場隊員を代表して大曲北広域消防本部佐々木伸吾消防副部長が力強く宣誓して訓練が開始され、各出場隊員はスピードと技を競い、日頃の訓練の成果をいかんなく発揮し優秀な成績を挙げ終了した。

なお、七月十三日(木)新潟県新潟市において開催される「東北地区消防救助技術指導会」からこの大会の上位入賞者の中から次の隊員が出場することになった。

1 引揚救助  
この種目は、地下街やマンホール等の深い穴の中で事故にあった人を救助するもので、五名一組で、二名が空気呼吸器を装着して塔上より降下し、検索後、要救助者を抱きかかえ救出搬送し、他の二名と協力して塔上へ引揚救助するまでの安全性、確実性と所要時間が評価される。

1位 秋田市 佐藤光則チーム  
2位 鹿角広域 田口昌明チーム  
3位 男鹿地区 小玉明年チーム  
2 ロープブリッジ渡越  
この種目は、二十メートルの長さのロープを起点から終点まで往路を水平渡り、復路をモンキー渡り、渡り、安全性と速度を競うもので標準タイムをオーバーしたり、不安定な場合等には減点される。

1位 ニッ井藤里地区 佐藤崇宏  
2位 鹿角広域 免沢俊幸  
3位 〃 〃 〃  
4位 秋田市 石川 洋  
5位 鹿角阿仁広域 吹谷 謙和  
6位 〃 〃 〃  
3 はしご登はん  
この種目は、高さ十五メートルのアルミ合金製のはしごを登る時間を競うもので、標準タイムをオーバーしたり、足を踏みはずすと減点になる。

1位 大曲北広域 小松 範史  
2位 〃 〃 〃



消防救助技術秋田県大会の模様

3位 高橋 誠幸  
4 ロープブリッジ救出  
一方の塔を被災建物の屋上、他の塔を直近の建物とみなし、四名一組で塔の一方に用意された用具を使い、対面する塔との間に設定されたロープブリッジにより、二名が渡過侵入して要救助者を救出し、侵入した二名が脱出する過程での安全性、確実性が評価される。標準タイムをオーバーするは減点になる。

1位 秋田市 伊藤 俊之  
2位 鹿角広域 相馬 将門  
3位 能代地区 三浦 克己  
4位 鹿角広域 三上 諭  
5位 大館周辺広域 花田 一成  
6 ほふく救出  
マンホールの中での作業が多くなっているのがこの種目を取り上げられた。

三名一組で、二名が十五メートルの位置から出発し、空気呼吸器を装着して誘導用ロープを両足に結束した後に、八メートルの煙道に進入して、要救助者を屋外に救出する競技で、安全性、確実性とあわせて所要時間を評価する。

1位 横手平鹿広域 大島秀明チーム  
2位 秋田市 松倉康司チーム  
3位 大館周辺広域 鎌田清晴チーム  
4位 秋田市 植村 真チーム  
5位 鹿角阿仁広域 柴田泰樹チーム  
7 ロープ応用登はん  
二名一組で、約十七メートルの高さから懸垂されたロープを、器具を使わずに手足だけで表示された到達点まで一名が登り、その安全性と確実性を競う。

1位 大曲北広域 後藤康文チーム  
2位 大館周辺広域

### 消防互助年金制度キャッチコピーの募集について

財団法人日本消防会消防互助年金制度は、消防員等が老後を安心して暮らすための制度です。この制度の魅力を広く知らせるため、キャッチコピーの募集を行います。

募集期間：平成十二年八月一日から平成十三年十一月三十一日まで

送付先・問合せ先：〒010-0001 東京都港区虎ノ門二丁目九番六号 日本消防協会 消防互助年金制度キャッチコピー募集係  
電話 03-3550-3111

互助の精神に基づいて「消防員等」の老後の経済的安定と豊かな生活の一助となつてほしい。消防互助年金制度の内容・特長等をわかりやすく表現したものとさせていただきます。

形式は、標榜、川柳、キャッチフレーズ、詩等自由です。

(例)「いま始める小さな一歩が老後のゆとり」  
「ゆとりある老後に有利な消防互助年金」  
「預貯金の利息で暮らす夢がいっぱい」  
「春まち子(第一生命)三回サラリーマン川柳コンクールより」

はがき一枚につき一点とし、同一作品が多数の場合は抽選により決定いたします。

応募作品は未発表のものとしてください。返却はいたしません。

最優秀作品・優秀作品の使用に関する権利は、日本消防協会に帰属します。今年度以降のパンフレット等に使用させていただきます。

▲一般のお客様

1人室(洗面所、トイレ付) ¥3,500  
2人室(バス、トイレ付) ¥7,000

▲会員の方

1人室(洗面所、トイレ付) ¥3,200  
2人室(バス、トイレ付) ¥6,400

**ホテル あきた**

秋田市中通4丁目3の23  
(秋田県消防会館内) 電話018(832)4111

**寺田染工場**

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

〒32-0416 横手市清川町

平成十二年全国統一防火標語  
火をつけた  
あなたの責任  
最後まで

3位 山本 誠チーム  
秋本和義チーム  
この種目は、五名一組で三連はしごを使用して高さ七メートルの塔上に隊員三名が進入、ロープで救出用の斜めブリッジを塔下の隊員と協力し展開、このロープで要救助者を救出後、隊員も脱出するまでの安全性、確実性と所要時間が評価される。

1位 秋田市 保坂浩一チーム  
2位 本荘地区 島山 章チーム  
9 障害突破  
この種目は、五名一組でスタート地点からゴール地点に至る経路に設けられた五箇所の障害を、互いに協力して救助者全員が突破するまでの安全性、確実性と所要時間を評価するもの。

1位 横手平鹿広域 菊地政嘉チーム  
2位 秋田市 小野昭博チーム

株式会社 **協立** 株式会社 **能代消防センター**

森田 ポン プ ラ ビット ポン プ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種 消火器 消防機器一式

能代市栄町12の3 〒016-0846  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

# 講習会のご案内

## ◎危険物取扱者保安講習 (法定講習)

- ◆受付期間 平成12年7月26日(水)～8月3日(木)
- ◆申請書等の配布及び受付場所
  - ・秋田市の受付…社団法人秋田県危険物安全協会連合会  
〒010-0001 秋田市中通四丁目3-23 消防会館内  
電話018-836-3236
  - ・上記以外の受付…各地区危険物安全協会  
(各地区の消防本部の中にあります。)
- ◆提出書類
  - ・受講申請書(秋田県証紙4,700円を貼付)
- ◆受講料
  - ・秋田県証紙 4,700円  
(社)秋田県危険物安全協会連合会でも販売しています。遠方の方は電話でお問い合わせ下さい。
- ◆当日持参するもの
  - ① 受講票
  - ② 危険物取扱者免状(免状は講習終了後、受講証明をしてお返しします。)
  - ③ 筆記用具
- ◆講習時間 3時間

## ◆講習日程

・講習は次の3種類 ①給油取扱所講習 ②石油コンビナート講習 ③一般(その他)講習)に分けて実施しますので、従事している危険物施設の区分によって申請して下さい。

### ①給油取扱所講習

給油取扱所で危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者(講習時間9:00～12:00)  
※男鹿会場は13:30からの一般講習と合同となります。

開催月日	開催地区	開催月日	開催地区
8月23日(水)	大館市	9月11日(月)	本荘市
8月25日(金)	秋田市	9月19日(火)	大曲市
8月28日(月)	秋田市	9月20日(水)	能代市
8月29日(火)	男鹿市	9月22日(金)	秋田市
9月5日(火)	鹿角市	9月26日(火)	横手市
9月8日(金)	湯沢市		

### ②石油コンビナート講習

石油コンビナート法の適用地区の特定事業所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者(講習時間9:00～12:00)

開催月日	開催地区
8月29日(火)	男鹿市
9月13日(水)	秋田市

### ③一般(その他)講習

講習種別の①又は②の対象とならない危険物施設で危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者(講習時間13:30～16:30)

開催月日	開催地区	開催月日	開催地区
8月23日(水)	大館市	9月11日(月)	本荘市
8月25日(金)	秋田市	9月13日(水)	秋田市
8月28日(月)	秋田市	9月19日(火)	大曲市
8月29日(火)	男鹿市	9月20日(水)	能代市
9月5日(火)	鹿角市	9月22日(金)	秋田市
9月8日(金)	湯沢市	9月26日(火)	横手市

## ◆講習会場

※受付は、各講習開始30分前から行います。

開催地区	会 場	住 所
秋田	秋田市文化会館	秋田市山王7丁目
鹿角	鹿角地域広域交流センター	鹿角市花輪
大館	大館市立中央公民館	大館市字桜町南
能代	能代市文化会館	能代市追分町
男鹿	男鹿市民文化会館	男鹿市船川港
本荘	本荘由利地域職業訓練センター	本荘市石脇田尻
大曲	大曲仙北広域交流センター	大曲市日の出町
横手	横手平鹿広域交流センター	横手市前郷
湯沢	湯沢雄勝広域交流センター	湯沢市沖鶴

## ◎消防設備士試験準備講習会の開催

受付期間 8月14日～25日

種 類	講 習 日	会 場
1類	9月11日(月)～12日(火)	みずほ苑(秋田市)
4類	9月13日(水)～14日(木)	
6類	9月19日(火)～20日(水)	

## ◎消防設備点検資格者講習会の開催

受付期間 8月28日～9月8日

種 類	講 習 日	会 場
1類	10月17日(火)～19日(木)	みずほ苑(秋田市)
2類	10月24日(火)～26日(木)	

## 天ぷら油による火災の防止

天ぷら油による火災は、水をかけてしまうなど消火方法を誤ると、被害を一層拡大するおそれがありますので、天ぷら油の特性及び危険性を十分理解しておく必要があります。

\*天ぷら油の特性  
現在市販されている天ぷら油(菜種油、コーン油、大豆油等)はその温度が発火点(約360℃～380℃)以上になれば、火種がなくても発火して燃焼し始めます。一般に家庭で使用する油量程度の天ぷら油(使用前のもの)を家庭用ガスコンロで加熱すると、約5分で揚げ物に適した温度(約180～200℃)に達し、そのままの状態では約10分ほどで異臭とともに白煙が立ち始め、20～30分で発火点に達し火がつきます。また、天ぷらなどに一度使用済みの油を揚げかす等がある場合には、それが灯芯となつて200℃近くで発

火することがあり、加熱し始めてから発火するまでの時間が短くなることがありますので、ちょっとした目を離したときに火災になってしまふことも考えられます。  
\*離れる時は火を消す  
天ぷら油火災の多くは、天ぷらを揚げているときに来客、電話、子供の世話などでこのころから離れた時のようなちょっとした油断が原因で発生しています。  
このため、天ぷら油火災を防止するには、調理油過熱防止付コンロや住宅用自動消火装置等安全装置のついた機器を使用することが最も有効です。したがって、天ぷら油火災を防止するには、調理油過熱防止付コンロや住宅用自動消火装置等安全装置のついた機器を使用することが最も有効です。

\*もし天ぷら火災が発生したら  
天ぷら油火災が発生した時、水で消火しようとするや炎が爆発的に拡大し、周囲に油が飛散して大やけどを負ったりするなど大変危険です。あわてないで炎の状態を確認し、次のように行動してください。  
1 炎が小さく油面上をちらちら動き回っているような場合  
このころの火を止め、鍋の全面を覆うふたをして空気を遮断することにより消火することが出来ます。  
2 炎が大きく安定した状態で油が燃焼しているような場合  
炎が大きい場合は、消火器で消化する方法が最もよい方法です。

## 応急手当普及員講習の受講者を募集します。

職場や町内会などで心肺蘇生法などを指導する応急手当普及員の養成講習を行います。受講料は無料で、受講者には認定証が交付されます。  
開催日: 8月22日(火)～25日(金)【合計24時間】  
場 所: 県消防学校(岩城町道川字築館1-1)  
定 員: 30名  
申込および問い合わせ先: 県消防防災課 電話018-860-4565

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

## 株式会社 高義商会

(営業種目)  
トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 電話(0183)(42)2125  
〒019-0504 十文字町本町 電話(0182)(42)0032  
〒012-0844 湯沢市市町 電話(0183)(73)2588



地域の防災、災害対策に貢献!



## 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL018(863)1551(代)  
猿田興業ビル7F FAX018(824)3651

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンバイホース  
トーハツポンプ | シバウラポンプ  
各種消防機械器具 | 各種消火器  
消防設備保守点検





# 消防秋田

創刊 初代編集長 松野 隆吉  
定価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)  
発行人 〒010-0001  
秋田市中通4丁目3-23  
秋田県消防協会  
会長 栗田 隆二  
電話 018-832-3791  
FAX 018-834-2706  
印刷 〒010-0991  
秋田市中通7丁目6-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760

## 第三十七回秋田県消防操法大会 秋田和の九月五日開催

### 優勝

小型ポンプ操法 山本町消防団第4分団  
ポンプ車操法 大潟村消防団第3分団  
軽可搬ポンプ操法 山本町婦人消防隊  
合男鹿・南秋支部



第三十七回秋田県消防操法大会が九月五日午前十時から、秋田県消防協会主催の訓練場において開催された。この操法大会は、秋田県のもっとも日頃の訓練の成果を競い合った。会場には応援のため団員や家族をはじめ住民の方など多くの人達が熱々と来場し、開会前が熱気がみなぎり盛り上がった。大会は、各支部から選抜された小型ポンプ操法七チーム、ポンプ車操法七チーム、軽可搬ポンプ操法一チームの精鋭約百名が参加し、午前九時五十分、男鹿地区消防音楽隊(仙北屋昭弘隊長)の皆さんが演奏する進行曲の中、総指揮者である増田町消防団松井剛一団長の号令により、十八チームの精鋭が、各団旗を先頭に堂々の分列行進を行い、佐藤秋田県出納長、柴田秋田県消防協会長の観閲を受けた。



小型ポンプ操法



ポンプ車操法

志気の高揚を図り、消防活動の充実強化に資することを目指して毎年行っているものである。この日は、心地よい風が吹き絶好のコンディションのもと日頃の訓練の成果を競い合った。会場には応援のため団員や家族をはじめ住民の方など多くの人達が熱々と来場し、開会前が熱気がみなぎり盛り上がった。大会は、各支部から選抜された小型ポンプ操法七チーム、ポンプ車操法七チーム、軽可搬ポンプ操法一チームの精鋭約百名が参加し、午前九時五十分、男鹿地区消防音楽隊(仙北屋昭弘隊長)の皆さんが演奏する進行曲の中、総指揮者である増田町消防団松井剛一団長の号令により、十八チームの精鋭が、各団旗を先頭に堂々の分列行進を行い、佐藤秋田県出納長、柴田秋田県消防協会長の観閲を受けた。

その後、祝電披露された後、大会審査長である澤木消防学校長が審査要領により厳正に公正な審査を行うなど訓練上の指示がなされた後、出場選手を代表して山本町消防団第四分団神田日出男班長が、消防精神に則り、正々堂々と競技するとの力強い宣誓を行い開会式を終了した。競技は、小型ポンプ操法の部、ポンプ車操法の部お

よび軽可搬ポンプの部の順で、競技はそれぞれ抽選により消防操法を競い合った。出場チームは何れも各支部代表としてこの日の栄誉を目指し、猛特訓を積み重ねてきただけあって、指揮者の号令により俊敏にして的確な消防操法を展開し、日頃鍛えた技術を余すところなく駆使し、各支部の希望を担って熱い戦いを繰り広げた。また、選手の応援にかけつけた消防団幹部、同僚、家族の方々は、それぞれのテントから熱い声援を送り、盛んな拍手や歓声により、選手への労をねぎらうなど、会場は終始、緊張のなかにも和やかな応援風景の中、競技が進行し、昼食をはさんで三時間におよぶ操法競技を終了した。

閉会式は、澤木審査長から、全般的に均衡した成績と統一された操法が行われ日頃の努力に感謝したとの総評があり、その成績を発表された。引き続き、表彰が行われ、「小型ポンプ操法の部」第一位 山本町消防団 第四分団 第二位 仙南村消防団 第三分団 第三位 鳥海町消防団 第五分団 「ポンプ車操法の部」第一位 大潟村消防団 第三分団 第二位 比内町消防団 第一位 鹿角市消防団 八幡平第一分団 「軽可搬ポンプ操法の部」第一位 山本町婦人消防隊

- 【操法大会成績】
- 「小型ポンプ操法の部」  
第一位 山本町消防団 第四分団  
第二位 仙南村消防団 第三分団  
第三位 鳥海町消防団 第五分団
  - 「ポンプ車操法の部」  
第一位 大潟村消防団 第三分団  
第二位 比内町消防団  
第一位 鹿角市消防団 八幡平第一分団
  - 「軽可搬ポンプ操法の部」  
第一位 山本町婦人消防隊

影が行われ、「小型ポンプ操法の部」で優勝した山本町消防団第四分団に消防防長官優勝旗と秋田県消防防旗、「ポンプ車操法の部」で優勝した大潟村消防団第三分団には秋田県消防防旗、総合優勝した男鹿南秋支部に日本消防協会長優勝旗が、また、軽可搬ポンプ操法の部で優勝した山本町婦人消防隊には秋田県知事優勝旗が授与されたほか、各部において入賞したチームには、秋田県知事賞並びに秋田県消防協会賞がそれぞれ授与された。出場選手を代表して総合優勝に輝いた男鹿南秋支部大潟村消防団菅生生介副団長が、本日の栄誉に際して答辞を述べ、地域の安全確保に当たる覚悟を表明して答辞とした。

最後に、秋田県消防長高橋秀夫会長の発声による万歳を三唱し、奥山和八秋田県消防協会副会長の閉会の言葉をもって第三十七回秋田県消防操法大会を終了した。

本日、御出場の皆様は、それぞれの地区から栄誉ある代表として選ばれた精鋭でありました。日頃の厳しい訓練により培われた、高い士気と優れた技術を存分に発揮されたこと、今後の消防活動の一層の充実へ、つなげていただきますことを期待いたします。

最後に、御仕事をとおすかたわら、地域住民の生命、身体、財産を守るため、日夜献身的な御尽力をいただいております消防団員の皆様、並びに、それを支えてくださる御家族の方々に、心から御礼を申し上げますとともに、各消防団及び秋田県消防の益々の御発展を祈念いたしまして、御祝いの言葉といたします。

日本消防協会会長 徳田 正明

### 立能代消防センター

株式会社 協能代消防センター 株式会社

能代市栄町12の3 〒016-0846  
TEL (0185) (52) 6361 (52) 6494

### 株式会社 高義商会

総合防災設備センター

ト一ハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ボ一ス  
消防被服全般  
消防器具各種

(営業種目) ト一ハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ボ一ス  
消防被服全般  
消防器具各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL(0183)(42)2125  
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182)(42)0032  
〒012-0844 湯沢市町町 TEL(0183)(73)2588

### 地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

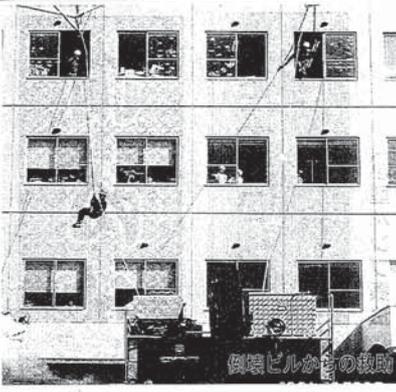
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ボ一ス

火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

### 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

平成十二年全国統一防火標語  
火をつけた  
あなたの責任  
最後まで

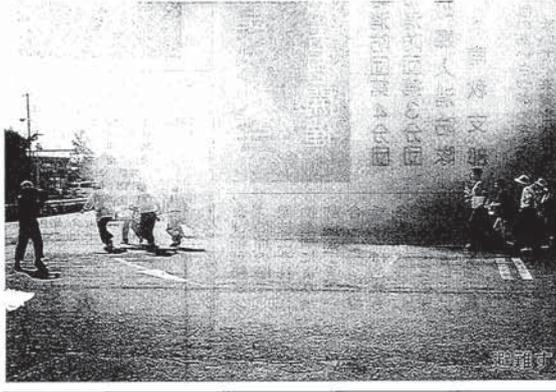


第三十八回秋田県総合防災訓練が八月二十日、本庄市で実施された。この訓練は、本庄市松ヶ崎西万七十七口を震源とするマグニチュード七・七、震度六の地震が発生したという想定で、秋田県や本庄市、県警消防など九十二機関、団体の約一万七百人が参加して、消火、避難、救助や救護物資輸送、水道、電気、ガス、通信のライフラインの復旧などの各種訓練を繰り返して、大災害に備えた。

# 「大地震想定し」秋田県総合防災訓練

訓練は、午前七時ごろ、本庄市沖を震源とする地震が発生し、市中心部が壊滅的な被害を受け、道路が寸断、病院や家屋が倒壊し、商店街から火災が発生し、交通事故が多発し、多くの航空機・ヘリコプター五

負傷者がた。また、津波が発生し、本庄マリーナで漁船などが転覆し、通信、電力、水道、ガスの施設にも大きな被害が発生したとの想定で行われた。今回の訓練には、災害時の協力について覚書を交わしている市庁七郵便局も参加し、オートバイの機動力を活かして情報収集にあたる。郵便局員が訓練に参加したのは、今回が初めてである。また、環島海四市サミットに参加している湯沢、山形県新庄、酒田の三市が災害援助協定に基づき、援助物資輸送と消防車を派遣し、三台の消防車は本庄市消防本部や地元消防隊にも参加した。県総合防災訓練には、果



機、船舶七隻が導入された大がかりな訓練の中、避難、初期消火訓練に参加した市民達も真剣な表情で訓練を行った。統括の寺田知事以下約四百七十人の参観者は中心市街地や本庄マリーナで分刻みで繰り返される訓練を査察した。



津波発生による救助。地震発生と二次災害、地震災害では、地盤の震動、隆起、沈降、地割れ等地盤の変位、地盤の液状化、津波の発生等が被害の発端となります。これらは、一次被害として建物損壊、落下物、壁、擁壁の破壊、危険物施設の破壊、電力・ガス・水道施設破壊、公共施設破壊、道路・橋梁破壊等を引き起こし、人命にも大きな影響を及ぼします。この一次被害はさらに第

二次災害として地震火災、可燃性ガスまたは有毒ガスの拡散、地震水害を引き起こします。このうち地震火災については説明しますと、地震時には火災が同時多発し、種々



### 消防学校初任教育生 消防学校初任教育生 消防学校初任教育生

秋田県消防学校では、初任教育生学生の教育の一環として、毎年秋田市千秋公園本丸久保田城跡にある消防殉職者慰霊碑の清掃を実施している。本年も第五十四期の学生三十七名が九月六日、澤木学校長の引率のもとに慰霊

### 消防殉職者慰霊碑を清掃

アイロンをかけます。これら全て地震が起こったときには火災が発生させる原因になる可能性がある。地震が起ったときにはまず身の安全を確保することが大切ですが、火の始末、電源の遮断等を行うことも大切です。地震の揺れが小さく、行動できる程度の状況になったら直ちに火等の始末をしましょう。

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
トールポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守点検

キンバイホース  
シバラポンプ  
各種消火器

## 消防団員のための 消防互助年金

10年確定年金 10年保証終身年金

特別年金

年金は毎年3%複利で運増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

## 寺田染工場

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

横手市清川町 ☎32-0416

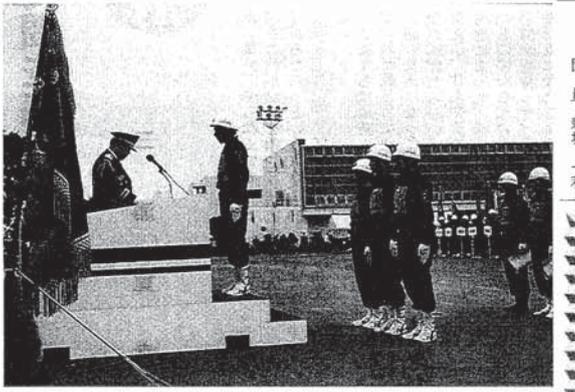
# 消防秋田

編集 初代会長 松野盛吉  
 定価 1部 5円  
 (購読料は年費を含む)  
 発行人 〒010-0001  
 秋田市中通4丁目5-23  
 秋田県消防協会  
 会長 柴田 謙二  
 電話 018-832-8791  
 FAX 018-834-2708  
 〒010-0951  
 秋田県山王7丁目5-29  
 株式会社 松原印刷社  
 電話 018-862-8760

## 平成十二年 秋の叙勲者発表 本県消防関係十三名が栄誉に輝く

- 平成十二年秋の叙勲は、恒例により、文化の日(十一月三日)に発表された。晴れの叙勲に輝いた本県消防関係者は、次の十三名の方であり、十一月六日秋田ヒューホテルにおいて、知事から叙勲の伝達が行われた。また、十一月九日日本消防会館エッセイホールにおいて消防庁主催の式典に参列した後、皇居にて天皇陛下に拝謁された。心からお祝い申し上げます。
- 元雄勝町消防団副団長 沼倉 廣英 81 消防歴 41年9月
  - 元山内村消防団副団長 向川 松弘 71 消防歴 39年3月
  - 元鳥海村消防団副団長 菅野 重一 76 消防歴 38年6月
  - 元五城目町消防団副団長 阿部 一 76 消防歴 37年9月
  - 元秋田市消防団副団長 鎌田 孫左エ門 84 消防歴 50年8月
  - 元横手平鹿広城市町村圏組合消防監 柿崎 芳夫 70 消防歴 37年10月
  - 元神岡町消防団副団長 藤井 新藏 72 消防歴 50年8月
  - 元増田町消防団副団長 小原 政雄 71 消防歴 42年11月
  - 元角館町消防団副団長 佐々木 良一 69 消防歴 45年6月
  - 元大内町消防団副団長 鈴木 保 75 消防歴 41年9月
  - 元本庄市消防団副団長 尾留川 慶三郎 75 消防歴 44年0月
  - 元八森町消防団副団長 和平 守 72 消防歴 42年1月

- ### 勲五等瑞宝章
- 元横手平鹿広城市町村圏組合消防監 柿崎 芳夫 70 消防歴 37年10月
  - 元神岡町消防団副団長 藤井 新藏 72 消防歴 50年8月
- ### 勲六等単光旭日章
- 元増田町消防団副団長 小原 政雄 71 消防歴 42年11月
  - 元角館町消防団副団長 佐々木 良一 69 消防歴 45年6月
  - 元大内町消防団副団長 鈴木 保 75 消防歴 41年9月



### 新団長紹介

仙北郡西木村消防団  
 団長 伊藤 博  
 (いとう・ひろし)  
 昭和十三年七月十四日生まれ、六十二才、昭和四十六年一月二十一日入団、部長、副団長を経て平成十二年九月十二日付けで団長に就任した。(商)

## 第十七回全国消防操法大会 山本町消防団 堂々準優勝

第十七回全国消防操法大会が、さる十月十九日横浜市で開催された。全国四十七都道府県代表チームの入場行進に始まり、午前九時より開会式が行われ、十時操法競技が開始された。

競技は、ポンプ車の部、小型ポンプの部で行われ、本県代表の山本町消防団は小型ポンプの部で十九番目に出場し、大会の雰囲気にも適するこ

- となくこれまでの厳しい訓練で鍛え抜かれた技を十二分に発揮し、四十一秒十一の好タイム、総合得点十八・五で競技を終了した。大会には、石井町長をはじめ町関係者、山本郡南部地区消防一部事務組合消防本部田中消防長ほか消防関係者及び隊員の家族とともに、来年度出場が決まっている山本町婦人消防隊の方々と多数の応援団が陣取り盛んな声援を送り健闘を祈った。
- 「選手」 班長 神田日出夫
  - 一審員 団員 信太 賢一
  - 二審員 団員 遠藤 勝昭
  - 三審員 団員 信太 政義
  - 補欠員 団員 新堀 一利

## 全国制覇に向け 誓いを新たに

山本町消防団  
 団長 信太 佐治夫

二年最後の記念すべき年に、十月十九日神奈川県横浜で開催された第十七回全国消防操法大会で山本町消防団は、この上ない喜びとするところでありました。

さて、山本町消防団第四分団豊岡班は、八年ぶり二度目の出場でありましたが、選手達は日頃の練習の成果を存分に切り出し、全国大会の緊張感の中、全実力を傾け、自分達の操法を展示し、全国都道府県代表二十二人の精鋭の中で見事準優勝を成し遂げることができました。

これも、ひとえに、山本町を初め、消防関係各位のご支援と応援のお陰と深く感謝申し上げます。

今後とも、消防活動を通じて防火思想の高揚に努め、四年後の大きな目標に向けてさらに精進を重ね、全国優勝に向けて努力する誓いを新たにしたいところであります。

関係各位の皆様、さらなるご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

森田ポンプ ラビットポンプ  
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立  
 株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846  
 TEL (0185) (52) 6361  
 (52) 6494

トーハツ消防ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
 消防被服 全種  
 秋田県代 全種

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ 各種  
 モジエ消防被服 全種  
 消火器 各種  
 消防器具 各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL(0183) (42) 2125  
 〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182) (42) 0032  
 〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73) 2588

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備  
 ポンプ自動車 火災報知器  
 小型ポンプ スプリンクラー  
 ホース 消火器

猿田興業株式会社

秋田県山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代  
 猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

# 救命手当普及県民の集い 講演「助けてもらった私の命」

救命手当普及県民の集いが十月二十日、秋田市御所野の秋田テルサで開かれ、消防団員や関係者ら約三百人が参加した。

主催は、秋田県、県救命手当普及推進協議会で平成十年から三カ年計画で心肺蘇生法などの普及を進めているものである。

大会では、「助けてもらった私の命」と題して、オフロードレーサーの渡辺幸哉氏の講演のほか、救命活動の体験談が発表され、本庄地区消防事務組合消防本部の島山操救急救命士が、「勇気を出して早期通

報、迅速な対応を心掛けてほしい」と訴えた。意見交換では、実際に救助する際の注意や問題点を話し合い、今後の参考とした。最後に聖園学園短期大学

生一先生が「先生が……、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部消防隊による「我が家の救急救命士」の寸劇を行い、救急救命の大切さをアピールした。



## 六ヶ月間を振り返って



三浦 寛 幸

四月の入校から、もう六ヶ月が過ぎようとしていく。この六ヶ月の間、消防の知識や技術など多くの事を学んだ。そして何より消防人としての精神を学んだ。教官の言葉の中で「公務員として地域の人の支えにならなければならない。その支えが、甘えやその他の誘惑によって、細くもろいものにならないよう強い信念を持って、太く丈夫な物になれるよう努力していきたい。」

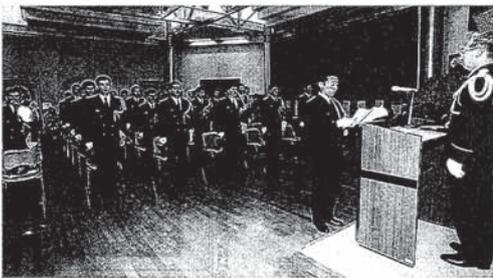
そしてもう一つ大きなものを学校で得ることが出来た。それは良き友に会えた事だ。来る前かが、自分がやがなくても周りの誰かが僕を助けてくれるだろうというような甘えを痛感させられた。

これからは消防人として、公務員として地域の人の支えにならなければならない。その支えが、甘えやその他の誘惑によって、細くもろいものにならないよう強い信念を持って、太く丈夫な物になれるよう努力していきたい。

そしてもう一つ大きなものを学校で得ることが出来た。それは良き友に会えた事だ。来る前か

## 平成12年度 消防職員初任教育終了式

10月13日 秋田県消防学校



平成十二年度の消防職員初任教育第五十四期生終了式が十月十三日、秋田県消防学校において来賓、父兄を迎えて行われた。

この初任教育課程は、本県常備消防の将来を担う各消防本部の新採用職員等を対象に行っているもので、この日終了式を迎えた学生三十六名は、本年四月十二日に入校し、消防に関する基礎学科及び実務大及び実務六カ月の厳しい訓練に耐え、自らを鍛錬し、所定の全課程を履修した。

終了式では、澤木学校長から修了生一人一人に修了書が授与された。澤木学校長は「修了生一人一人に修了書が授与された。澤木学校長は「修了生一人一人に修了書が授与された。澤木学校長は「修了生一人一人に修了書が授与された。」と述べ、終了式を終了した。

秋田 市	道之	大高 学
藤川 浩	岩谷 正徳	
天野 寛	五城 目千	光
渡部 城	高野 洋平	
大塚 良樹	高田 清仁	
中村 友和	酒田 芳仁	
石山 伸	矢島 地区	
浅野 佳希	大曲北広域	
小山 佳大	安達謙太郎	
川邊 俊明	坂本 哲	
石井 浩二	三浦 寛幸	
浅石 大輔	内藤 雅行	
木村 真寿	後藤 大典	
千葉 和良	小川 雄大	
藤田 清志	高橋 靖	
佐藤 英	大友 弘幸	
	高橋 恒平	

### 記入例

学名	市町村名	学校名	性別
(ふりがな)			
氏名			

- 目的  
少年少女の防火意識を高めるとともに、この作品により、一般市民の防火思想の普及向上をはかることを目的とする。
- 主催  
秋田県・(財)秋田県消防協会
- 後援  
秋田県教育委員会・秋田県新聞社
- 募集規定  
(1) ポスター  
(2) 色紙、表現方法は自由とし、防火思想の普及に資するものであること。  
大きさはB版四ツ切大、55cm×37cmであること。  
ハ一人一点とする。
- 応募資格  
(1) 応募者は、秋田県内の小・中学校の児童生徒  
(2) 応募期間は、平成12年11月1日(平成12年11月1日)～12月31日(12月31日の消印のあるものは有効)
- 送付先  
(1) 秋田県消防協会  
〒990-0001 秋田市中通四丁目3-23  
(財)秋田県消防協会  
TEL018-8223791

### 平成13年度 防火ポスター募集

先輩方から「初任科の同期は大切だ。」とわかれて来たが本当にその通りだと思ふ。これはこれからの人生の中でかけがえない貴重な財産になる事だろう。

まだまだ、いろいろな事を学んだ六ヶ月であったが、とても楽しい六ヶ月でもあった。これからの消防人生も楽しい事はかりではないと思うが、そんな時はこの友と話し合つて支えがいづまでも太く丈夫なものであるよう努力していきたい。

協会および学識経験者の協力を得て厳正に行う。

(5) 入選発表  
平成13年2月上旬、秋田新聞紙上にて発表。

(6) 賞与  
次の入選者には、賞状と賞品を贈呈する。  
小学生の部 一席1人 二席2人 三席3人  
中学生の部 一席1人 二席2人 三席3人  
佳作若干名

## 消防団員のための 消防互助年金

10年確定年金      10年保証終身年金

特別年金      年金は毎年3%複利で増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

### 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
ターハツポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守点検

キンパイホース  
シバラポンプ  
各種消火器

消防半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

## 寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

# 消防秋田

〒010-0901 秋田市中通4丁目3-23  
秋田県消防協会  
会長 藤田 謙二  
電話 018-832-3791  
FAX 018-834-2706  
印刷 〒010-0901 秋田山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760

11月5日→11日

## 秋の火災予防運動

### 三項目を重点目標に 一層の安全確保へ

#### 平成十二年秋の火災予防運動実施要綱

秋の火災予防運動は、例年秋から冬にかけて暖房器具などによる建物火災が発生しやすい時期を迎えることと、火災予防思想の一層の普及を図ることにより、火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防止することを目的として、毎年実施されている。

平成十二年度においても、秋田県では住宅防火対策の推進、地域における防火安全体制の充実など三項目の重点目標を定めて、県民総参加の運動を展開することとしている。

**目的**  
この運動は、火災が発生しやすい気候となる時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、死傷事故や財産の損失を防止し、死傷事故や財産の損失を防止することを目的とし、高齢者等の死者を大幅に減少させることを目指す。

**実施期間**  
平成十二年十一月五日(日)～平成十二年十一月十一日(土)まで

**運動の重点**

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 地域における防火安全体制の充実
- 3 特定防火対策等における防火安全対策の徹底

**推進事項**

- 1 家庭では、または一人暮らしの高齢者、身体不自由者の方を住宅火災から守りましょう。
- 2 職場では、  
○防火基準適合マーク(適マーク)の確認をしましょう。
- 3 地域では、  
○防火に関する講習会や映画会を開催し、火災予防の正しい知識を身につけましょう。
- 幼年、少年消防クラブ、婦人防火クラブを結成し、火災予防意識を育てましょう。
- 大規模地震の発生による火災等の危険性から地域社会を守るため、自主防災組織を作りましょう。
- 自主防災組織等により、初期消火、救出訓練、避難、通報連絡、情報伝達等を中心とした各種訓練を実施しましょう。
- 防火を防ぐため、地域による自主防火の話し合いをしましょう。
- 寝たきりまたは一人暮らしの高齢者、身体不自由者等の地域ぐるみの避難協力体制を確立しましょう。

**住宅防火安心マーク**

我が家の安全度をチェックしましょう。  
○万の火のために避難場所からの避難経路を確保しましょう。  
○天から油による出火防止及び初期消火方法を話し合しましょう。  
○住宅用火災警報器など「住宅防火安心マーク」の表示された住宅用防災機器等を備えましょう。

## 火の用心 7つのポイント

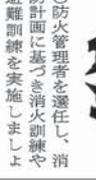
秋の火災予防運動  
**火をつけた あなたの責任 最後まで**  
11月5日(日)～11月11日(土)

- ① 家の周りに燃えやすいものを置かない
- ② 寝たばこやたばこのなげすてをしない
- ③ 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
- ④ 風の強いときは、たき火をしない
- ⑤ 子供には、マッチやライターで遊ばせない
- ⑥ 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- ⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない

平成十二年度全国統一防火標語  
**火をつけた あなたの責任 最後まで**



住宅防火安心マーク



防火管理者を選任し、消防計画に基づき消火訓練や避難訓練を実施しましょう

7月9日～11月5日まで  
**火をつけたあなたの責任**  
秋田県秋の火災予防運動  
11月5日～11月11日

平成十二年度  
**秋田県殉職消防団(職)員慰霊祭**  
九月二十二日 秋田市千秋公園

環境文化部長、遺族代表(鹿角市山崎アイ子)及び来賓の順に玉串を奉奠し、最後に官言が撤奠、送魂の儀を行い午後二時三十分、慰霊の式典を修めた。この消防団員に合致されている御霊は、消防団員

は田畑虎松氏ほか三十八柱消防団員は石田岩太郎氏ほか四柱であります。ご生前のご功績を偲び、永久のご冥福を心からお祈り申し上げます。

平成十二年度秋田県殉職消防団(職)員慰霊祭は、九月二十二日(金)秋田市千秋公園本丸の慰霊碑前において、秋田県知事(代理)安枝興典議長ほかの来賓、殉職者御家族及び消防協会役員等約五十名が参加して行われた。

慰霊祭は、午後一時三十分、神事による修祓、招魂祈禱の儀のあと、官言により奉主のりとなげられ、続いて祭主祭文を奥山消防協会副会長が、慰霊の言葉を秋田県知事代理、佐藤生活環境文化部長が、それぞれ御霊に奉呈した。次いで日本消防協会会長からの電報が紹介されたのち、祭主奥山副会長、佐藤生活

第十九回  
**全国消防殉職者慰霊祭**  
九月十九日 日本消防会館ニッシーホール

第十九回全国消防殉職者慰霊祭は、九月十九日午前十時から日本消防会館ニッシーホールにおいて、全国各地から参集の御遺族のほか来賓および消防関係者多数が参加して行われた。慰霊祭は、辻本副会長の開式のそばで始まり、御霊の奉納、東京消防庁音楽隊による追悼の曲が吹奏される中で、消防殉職者に対する黙とうが行われ、徳田会長の式辞に続いて、内閣総理大臣(代理)、鈴木消防庁長官、および全国消防団長会長(代理)がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。来

遺族氏名 続柄 遺族氏名

山崎 善雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子
山崎 幸雄	妻	山崎 アイ子

この慰霊祭に参列された本県の御遺族は次の方々である。

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

## 株式会社 高義商会

トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
消火報知器各種  
消火器各種

(営業種目)

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 Ⅱ(0183)(42)2125  
〒019-0504 十文字町本町 Ⅱ(0182)(42)0032  
〒012-0844 湯沢市市町 Ⅱ(0183)(73)2588

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

## 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL018(863)1551代  
猿田興業ビル7F FAX018(824)3651

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
トーハツポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守点検

キンバイホース  
シバラウポンプ  
各種消火器

# 消防互助年金に積極的に加入しましょう。

## 消防互助年金加入状況表

平成12年10月1日加入日現在

消防団名	団員数	表彰基準1割達成数	計	加入率	消防団名	団員数	表彰基準1割達成数	計	加入率
1 鹿角市	829	83	116	13.9	35 由利町	182	19	2	1.0
2 小坂町	193	20	12	6.2	36 大内町	199	20	42	21.1
3 大館市	794	80	195	24.5	37 東由利町	142	15	8	5.6
4 鷹巣町	296	30	50	16.8	38 西目町	122	13	37	30.3
5 比内町	275	28	48	17.4	39 鳥海町	312	32	32	10.2
6 森吉町	224	23	48	21.4	40 大曲市	470	47	12	2.5
7 阿仁町	189	19	7	3.7	41 神岡町	84	9	15	17.8
8 田代町	175	18	18	10.2	42 西仙北町	225	23	7	3.1
9 合川町	190	19	4	2.1	43 角館町	285	29	18	6.3
10 上小阿仁村	135	14	9	6.6	44 六郷町	155	16	10	6.4
11 能代市	608	61	125	20.5	45 中仙町	232	24	3	1.2
12 琴丘町	125	13	27	21.6	46 田沢湖町	289	29	52	17.9
13 ニツ井町	280	28	40	14.2	47 協和町	252	26	10	3.9
14 八森町	171	18	9	5.2	48 太田町	106	11	18	16.9
15 山本町	195	20	69	35.3	49 仙北町	116	12	3	2.5
16 藤里町	116	12	36	31.0	50 南外村	154	16	13	8.4
17 八竜町	149	15	62	41.6	51 西木村	138	14	58	42.0
18 峰浜村	170	17	36	21.1	52 千畑町	194	20	9	4.6
19 秋田市	1,512	152	61	4.0	53 仙南村	136	14	11	8.0
20 男鹿市	677	68	22	3.2	54 横手市	593	60	98	16.5
21 五城目町	242	25	55	22.7	55 増田町	308	31	53	17.2
22 昭和町	187	19	2	1.0	56 平鹿町	466	47	71	15.2
23 八郎潟町	113	12	3	2.6	57 雄物川町	543	55	110	20.2
24 飯田川町	80	8	1	1.2	58 大森町	272	28	46	16.9
25 天王町	234	24	44	18.8	59 十文字町	530	53	101	19.0
26 若美町	166	17	25	15.0	60 山内村	172	18	33	19.1
27 井川町	165	17	5	3.0	61 大雄村	237	24	104	43.0
28 大潟村	50	5	39	78.0	62 湯沢市	835	84	48	5.7
29 河辺町	372	38	82	22.0	63 稲川町	462	47	52	11.2
30 雄和町	279	28	58	20.7	64 雄勝町	497	50	19	3.8
31 本荘市	506	51	57	11.2	65 羽後町	777	78	26	3.3
32 仁賀保地区	729	73	26	3.5	66 東成瀬村	204	21	15	7.3
33 矢島町	183	19	3	1.6	67 皆瀬村	174	18	26	14.9
34 岩城町	173	18	28	16.1	小計	20,645		2,584	

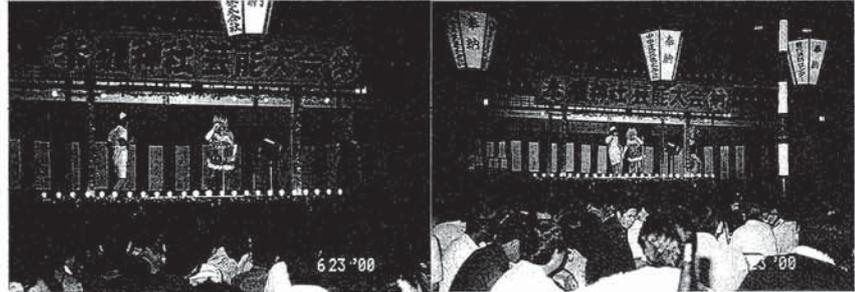
我が国は、近年人生八十年時代を迎え、定年後の第二、第三の人生をいかに充実した生きがいのあるものにするかは、誰しも大きな関心事であります。

一方、急速に少子高齢化が進み、公的年金財政の悪化による支給開始年齢の六十五歳への引き上げ、支給水準の引き下げ等公的年金給付水準が低下しつつあります。このため、定年後の六十五歳まで六十、十五歳以降の生活設計を改めて考え直さなければならぬようになりました。

このように時代環境の中で、本制度は四十歳以上(二十年間掛金を納入)になれば、何時でも年金を受給できる特別年金の導入など、公的年金を補充する他の制度にない特徴を持っており、

消防団員一人ひとりの老後のゆとりと生活の向上を目指すため、本年度も新入消防団員を中心に入団時の制度の普及を図るとともに、特に本年度は西暦二〇〇〇年にある節目の年でもあり、実加入人数三千人以上を確保し実加入率一%アップを目標として、「互助マル君」年金加入キャンペーンを行っています。

消防本部名	職員数	表彰基準1割達成数	計	加入率
鹿角広域消防本部	96	10	28	29.1
大館周辺広域	123	13	3	2.4
鷹巣阿仁広域	94	10	22	23.4
能代地区	116	12	33	28.4
ニツ井藤里地区	51	6	5	9.8
山本郡南部地区	48	5	32	66.6
男鹿地区	141	15	106	75.1
湖東地区	63	7	34	53.9
五城目町	29	3	8	27.5
秋田市	355	36	17	4.7
河辺雄和地区	41	5	38	92.6
本荘地区	119	12	4	3.3
仁賀保地区	64	7	14	21.8
矢島地区	57	6	18	31.5
大曲仙北地区	241	25	170	70.5
横手平鹿地区	165	17	35	21.2
湯沢雄勝地区	160	16	13	8.1
秋田県消防協会			14	
小計	1,963		580	
合計	22,608		3,178	



**支部(団)だより**

能代市の神社祭典が六月二十三日、二十四日の両日、多数の来賓をむかえ、盛大に開催されました。

能代市は、昭和十四年消防組織が消防団に変わると、幾星霜にわたり消防の榮譽を象徴した織を織え、能代市の無火災、鎮火守護神として祀る神社であります。

長らく六月二十四日だけの祭典でしたが、昭和五十四年からは前日の二十三日に宵祭として消防団員による奉納芸能大会も行われるようになり、今年も二十一日、二十二日、二十三日にわたって宵祭をむかえ、来賓として宮

秋田県消防防災課長 高橋秋田県消防長会会長 などをむかえ、約四百名の消防団員が出席し自慢の歌や踊りが披露され会場がわかせました。

梅雨の真っ只中の過去二十一年の芸能大会ですが、日頃の消防関係者の行いのよさを反映してか、一度も雨がたたえられなかったことが、今年も朝からの晴天でこれを証明しました。

二十四日の本祭は消防関係者約百名が出席し、心新たに能代市の無火災を祈願して、二日間に渡る祭典を終りました。

能代市長 渡

▲一般のお客様

- 1人室(洗面所、トイレ付) ¥3,500
- 2人室(バス、トイレ付) ¥7,000

▲会員の方

- 1人室(洗面所、トイレ付) ¥3,200
- 2人室(バス、トイレ付) ¥6,400

**ホテル あきた**

秋田市中通4丁目3の23  
(秋田県消防会館内)電話018(832)4111

消防団員のための

## 消防互助年金

10年確定年金      10年保証終身年金

特別年金      年金は毎年3%複利で増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ      ラビットポンプ

桜ホース・ソフト吸管      消防被服一式

各種消火器      消防機器一式

株式会社 **協立** 株式会社 **能代消防センター**

能代市栄町12の3 〒016-0846  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

# 消防秋田

〒010-0001 秋田市中通4丁目3-23  
 発行人 秋田県消防協会  
 編集人 松野 隆二  
 電話 018-832-3791  
 FAX 018-834-2706  
 〒010-0951 秋田市山王7丁目6-29  
 印刷 株式会社 松原印刷社  
 電話 018-862-8760

## 平成十二年度消防庁関係補正予算の概要 (消防庁：消防の動き抜粋)

○平成十二年度補正予算(四十三億五二〇百万円)を  
 「日本新生のための新発  
 展政策」(十月十九日経済  
 対策閣僚会議決定)のとり  
 まどめを受けて編成され  
 た平成十二年度補正予算  
 (一般会計予算)の追加  
 額五兆八、一六六億、歳出  
 の修正減少額一兆三、四  
 億、総額四兆七、八三二  
 億、が十一月十日に閣議  
 決定され、同日、国会に提  
 出、二十二日可決成立さ  
 れました。

このうち消防庁所管分  
 は、「社会資本整備費」の  
 うち「情報通信技術」  
 「特別対策事業」として  
 「インターネットを活用し  
 た被災住民向け災害情報シ  
 ステムの開発」など、後述  
 2.の①及び②で二億八、  
 四百万円を、防災特別策  
 事業として消防補助金な  
 ど(後述1.及び2.の③)で  
 四十五億一、五百万円を、  
 額で四十七億九、九百万  
 円を計上しています。

その具体的な内容につ  
 いては、以下のとおりで  
 す。特に消防補助金につ  
 いては、

では、昨年の第二次補正額  
 (四十三億五二〇百万円)を  
 上回る四十四億三〇百万円  
 を確保しておりますので、  
 各地方公共団体におかれま  
 しては、地域の消防防災体  
 制の整備のために、今回の  
 補正予算を積極的に活用し  
 いただきますようお願いいた  
 します。

なお、今回の補正予算に  
 関連して生じる地方負担  
 (消防補助金の補助率に  
 ついては、原則として、地  
 方債の充当率を八〇%と  
 し、その元利償還金の全額  
 について、後年度基準財政  
 需要額に算入(八〇%を公  
 債費方式、二〇%を単位費  
 用により措置)するほか、  
 地方負担のうち残余の二  
 〇%に相当する額について  
 は、平成十二年度に限り、  
 基準財政需要額の算定方法  
 の特例として「臨時経済対  
 策費」を設けることによ  
 り、基準財政需要額に算入  
 することとされていること  
 にも念のため触れておきま  
 す。

1. 消防補助金

四十四億三〇百万円

(1) 消防防災施設緊急整備事  
 業 三億二百万円  
 地方公共団体が実施する  
 防火水栓等の施設整備費に  
 対して一部補助するもので  
 す。

(2) 消防防災設備緊急整備事  
 業 三十一億一百万円  
 地方公共団体が実施する  
 消防ポンプ自動車、救急車  
 高高度化資機材、高規格救  
 急自動車等、防災無線等  
 の設備整備費に対して一部  
 補助するものです。

(3) 消防団基盤緊急整備  
 事業 十億七百万円  
 消防活動や救助救出作業  
 等重要な役割を担っている  
 消防団に係る基盤整備等を  
 図るため、地方公共団体が  
 実施する消防団拠点施設、  
 消防防災用車両、各種資機  
 材等の総合的な整備に対  
 して一部補助するものです。

2. その他消防庁事業

三億六、九百万円

(1) インターネットを活用し  
 た被災住民向け災害情報シ  
 ステムの開発 二億三百万円

突発的に発生する災害時  
 においては、地方公共団体  
 が被災状況や住民ニーズ等  
 を十分に把握できないこと  
 や、被災住民が被災程度や  
 応急対応に係る情報等を十  
 分に把握できないことがあ  
 るため、情報通信手段とし  
 て一般的になりつつあるイ  
 ンターネット等を活用し、  
 災害時における情報の取  
 集・伝達を行うためのシス  
 テムを開発しようとするも  
 のです。

具体的には、インター  
 ネット技術等を利用して①  
 住民から行政機関又は住民  
 に対する情報提供のあり  
 方、②行政機関から住民に  
 対する情報提供のあり方  
 についてそれぞれ検討を行  
 い、地方公共団体のホーム  
 ページ等を通じて災害情報  
 の収集・伝達を行うための  
 全国的な標準ソフトの開発  
 などを行います。(平成十  
 三年度特別枠要望前倒し)

②大深度地下等における消  
 防隊員の位置特定システ  
 ムの開発 六、一百万円  
 大深度地下、道路トンネ  
 ル、地下街、原子力発電所

等消防活動が困難な空間に  
 おいても、消防隊員の安全  
 を確保するとともに、円滑  
 で迅速な救助・救急及び消  
 火活動を行うことができる  
 よう、I.Tを活用した消防  
 隊員の位置を特定できるシ  
 ステムを開発するもので  
 す。

具体的には、ジャイロ・回  
 転機、やPHSにより消防  
 隊員の位置を測定し、その  
 データを無線などで伝送し  
 て、画像処理したものを画  
 面上に表示するシステムの  
 開発を行います。平成十  
 三年度特別枠要望前倒し)

(3) 消防研究所の研究用資機  
 材の整備 八、五百万円  
 地震振動特性評価装置  
 (軽量かつコンパクトな地  
 震計及びデジタルレコー  
 ダー)並びに携帯電話による  
 遠隔操作装置からなる地震  
 振動計測装置二十台を緊  
 急に整備するものです。

これらを使って、鳥取県  
 西部地震のような大規模地  
 震発生直後に頻発する余震  
 や群発地震の発生時等に  
 おいて、住家に被害が出た地  
 域や危険物施設直近の地域  
 における地震振動と損傷等  
 の被害の程度を細かく分析  
 することにより、今後の地震  
 対策に生かすこととしてい  
 ます。

平成十二年度全国統一防火標語  
**火をつけた  
 あなたの責任  
 最後まで**

## 高めよう防火意識



秋田県・秋田県少年婦人  
 防災委員会主催による「秋  
 田県婦人防火研修会」が十月  
 介した後、婦人防火クラ  
 ブの現状、抱える問題点  
 や今後の展望などについ  
 て話し合い、活発な意見  
 交換がなされた。最後に  
 パネリストから幼いころ  
 から防火の意識を植え付  
 けるなどの対応について  
 アドバイスがあり、防火  
 意識の活発な活動を誓い  
 終了した。

県消防防災課による  
 と、県内には五百八十四  
 クラブ、四万三千二百五  
 十一人の会員がいる。

！スーパーマンの熱  
 い夏・消防団の甲子  
 園をめざした一はテレビ  
 放映の録画したビデオ  
 (左記)を県内全市町村  
 (消防団)その他関係機  
 関に配布し啓蒙、啓発に  
 努めている！

スーパーマンの熱い夏  
 ~消防団の甲子園をめざして~

スーパーマンの熱い夏  
 ~消防団の甲子園をめざして~

■主催 秋田県消防協会  
 ■協賛 秋田県消防団協議会  
 平成12年9月30日放送  
 制作 秋田テレビ

消防団員のための  
**消防互助年金**

10年確定年金  
 10年保証終身年金  
 特別年金  
 年金は毎年3%  
 複利で逡増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ  
 桜ホース・ソフト吸管  
 各種消火器

ラビットポンプ  
 消防被服一式  
 消防機器一式

株式会社 協立  
 株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 016-6846  
 TEL (0185) (42) 6361  
 (52) 6494

トーハツ消防ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ  
 消防自衛隊  
 秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)  
 トーハツ小型動力ポンプ  
 モリタ自動車ポンプ  
 ネットホース各種  
 消防被服一式各種  
 消防器具各種  
 消防機器各種

〒012-0111 本社 秋田県横川町 TEL(0183) (42) 2125  
 〒010-0504 十文字町本町 TEL(0182) (42) 0032  
 〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73) 2588

# 冬の火災予防について

## 秋田県消防防災課

朝晩すっかり冷え込んできて、一日中ストーブなどの暖房器具をつけなければならぬ季節となりました。冬に起因する住宅火災の大きな原因のひとつとして、石油ストーブに代表される暖房器具の火災があります。

例年、火災状況を見ますと、暖房器具を正しく使っていないことが原因で、異常燃焼や布団・着火した火災など、ちよっと注意すれば防げるものが数多くあります。

このような、暖房器具が原因となる火災を防ぐために、次の点について特に注意しましょう。

まず、給油時の注意として、火は必ず消してから、次に灯油であることを確認してから、そしてカートリッジタンクへの給油の際はキャップをきっちり閉めるようにしてください。

次に、使用中の注意として、ストーブの上に洗濯物を干したり、燃えやすい物を近づけないようにしてください。

そして、消火についての注意として、火が完全に消えたことを確認してください。つけたまま、その場を離れないでください。また、就寝時同様です。

十分に注意していても、万一火災が起きてしまった時のために、住宅用火災警報器や防炎加工の布団などを使用することをお勧めします。火災警報器があれば、泥酔して熟睡していたとしても、逃げ遅れる危険はぐっと低くなります。最近では、乾電池式の簡易なものが出ています。また、布団に火が燃え移った場合でも、防炎加工がされていると、火の回りが遅いので大事に至らずに済みます。

また、冬期間は冬間いや雪の壁により避難口が狭り、命にかかわるような危険性が非常に高くなります。

万一の場合でも、被害を最小限に食い止めるため、避難口は二つ以上確保してください。また、いったん避難したら家財道具などを持ち出すために引き返すようなことは絶対しないようにしましょう。

平成十一年度の防火標語は「火をつけたあなたの責任 最後まで」です。

家族で、地域でお互いに話し合って、よりいっそう効果的な防火対策が取れるようお願いします。

# 雪害対策と家庭の心得について

## 秋田県消防防災課

年の瀬も押し迫り、これから本格的に雪の降る時期を迎えます。

秋田地方気象台は、この冬は天候見通しについて、一月は、平年に比べ、曇りや雪の日が少なく、十一月と二月には平年と同様に曇りや雪の日が多くなる。また、この期間の降雪量については、平年並みの可能性が大きく、気温については期間を通じて平年並みか高い可能性が大きい」と発表しております。

県では十月中旬に、雪による被害を防止するため関係機関と対策等について協議したところです。

原因となる火災を防ぐために、次の点について特に注意しましょう。

まず、給油時の注意として、火は必ず消してから、次に灯油であることを確認してから、そしてカートリッジタンクへの給油の際はキャップをきっちり閉めるようにしてください。

次に、使用中の注意として、ストーブの上に洗濯物を干したり、燃えやすい物を近づけないようにしてください。

そして、消火についての注意として、火が完全に消えたことを確認してください。つけたまま、その場を離れないでください。また、就寝時同様です。

十分に注意していても、万一火災が起きてしまった時のために、住宅用火災警報器や防炎加工の布団などを使用することをお勧めします。火災警報器があれば、泥酔して熟睡していたとしても、逃げ遅れる危険はぐっと低くなります。最近では、乾電池式の簡易なものが出ています。また、布団に火が燃え移った場合でも、防炎加工がされていると、火の回りが遅いので大事に至らずに済みます。

また、冬期間は冬間いや雪の壁により避難口が狭り、命にかかわるような危険性が非常に高くなります。

万一の場合でも、被害を最小限に食い止めるため、避難口は二つ以上確保してください。また、いったん避難したら家財道具などを持ち出すために引き返すようなことは絶対しないようにしましょう。

平成十一年度の防火標語は「火をつけたあなたの責任 最後まで」です。

家族で、地域でお互いに話し合って、よりいっそう効果的な防火対策が取れるようお願いします。

# 消防団員指導員研修

## 秋田消防学校で開催

「消防団員指導員研修」を十一月七・八日、秋田消防学校にて実施した。

この研修は地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団員の教育訓練の指導にあたる者を養成することを目指すものである。

を目的として、日本消防協会の委託事業として、県消防学校の協力を得ながら秋田県消防協会が行っているものである。今回は十六名が受講し、全員無事修了、日本消防協会長の修了証及び指導員章が授与された。

受講者は次のとおりである。

- |                     |                       |                      |                      |
|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| 大館市消防団<br>副分団長 熊田 茂 | 五城目町消防団<br>分団長 一関 久   | 大曲市消防団<br>部長 佐藤 裕藏   | 増田町消防団<br>分団長 遠藤孝一郎  |
| 能代市消防団<br>部長 中川 進   | 五城目町消防団<br>分団長 原田 行雄  | 角館町消防団<br>副分団長 小林 勝一 | 山内村消防団<br>副分団長 高橋 慶治 |
| 男鹿市消防団<br>副分団長 上野 久 | 仁賀保地区消防団<br>分団長 加藤 照美 | 中仙町消防団<br>班長 伊藤 俊雄   | 山内村消防団<br>副分団長 佐々木高雄 |
| 男鹿市消防団<br>部長 平賀 一男  | 仁賀保地区消防団<br>分団長 須田 久好 | 太田町消防団<br>分団長 高橋 剛   | 羽後町消防団<br>副分団長 菅原 政一 |

# 「動く防火ポスター」

全国の火災発生状況は、今年は、トラクターなど機械による作業中心に、機械に挟まれたり、倒れた機械に下敷きになる事故が七件起きている人々、機械の転倒に十分注意し、暗いときや、吹雪で周りが見えないうときは作業を避けることも必要です。

三つ目は、避難口の確保についてです。

雪の多い地域では家の周りに囲いをしますが、火災が発生したときに、逃げ場がないため焼死したという例が多くあります。

雪囲いは、通常の出入り口のほかに避難口を設けてください。

以上、家庭で注意することとを記しました。これから訪れる厳しい冬を安全に過ごしましょう。



して活動しているが、火災は未然に防ぐことが最も大切であり、火災予防活動は消防団の大切な任務のひとつであり、特に住民の火に対する「警火心」を高めることが重要であります。

このようなことから、日本消防協会では、防火ポスターなど、さまざまな企画によりPRに努めておりますが、平成十一年度から愛らしいキャラクターの「ひまわりしていかの(意味)」をデザインした、動くポスターとして「ランドセルカバ」を作り、小学一年生を対象に配布し、本県は五百枚着用頂きPRに努めてまいります。

ご協力くださいました

「新団長紹介」欄に誤りがありました。

消防秋田十一月号の「新団長紹介」欄に誤りがありました。

仙北郡西木村消防団伊藤博氏団長を伊藤博団長と誤って紹介いたしました。

訂正するとともに、「本人をはじめ関係者の皆様には迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

地域の防災、災害対策に貢献!

**消防 設備**

ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

**猿田興業株式会社**

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

**株式会社タカギ**

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
トールポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守点検

キンバイホース  
シンバウラポンプ  
各種消火器



# 年頭のご挨拶

消防庁長官 鈴木正明



二十世紀の扉を開く平成十三年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様は、年頭の御挨拶を申し上げますとともに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

二十世紀の扉を開く平成十三年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様は、年頭の御挨拶を申し上げますとともに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

二十世紀の扉を開く平成十三年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様は、年頭の御挨拶を申し上げますとともに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

# 新春のご挨拶

財団法人 日本消防協会 会長 徳田正明

平成十三年の輝かしい新春を迎え、全国消防関係者の皆様は、謹んで御挨拶申し上げます。

常日頃、消防団員・職員は、身を挺して火災をはじめあらゆる災害から国民の生命・身体・財産を守るため、獅子奮迅のご活躍をされておられます。これに対し、深く敬意を表し、心から感謝を申し上げます。

我が国は、災害多発国であり、歴史的に幾多の大災害に見舞われ、甚大な被害を受けておられます。昨年も、災害は依然とし

て跡を絶たず、三月末には北海道有珠山、七月には宅島雄山が相次いで噴火し、伊豆諸島では地震五強以上の群発地震が六月末から八月中旬の二ヶ月間に十三を数えました。又、九月東海地方を襲った記録的な集中豪雨では二十万世帯が集中避難せざるを得ない状況がなされ、七万数千世帯が浸水し、尊い人命と貴重な財産が奪われまわりました。十月にマグニチュード7.3、震度6強の鳥取西部地震と震度6弱の福島西部地震の脅威を強く認識したところであります。

これらに対処し、被害を

# 新年のご挨拶

消防大学校長 伊藤 廉



平成十三年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。消防関係者の皆様は、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

消防大学は、昭和二十三年に創設された消防講習所を前身とし、昭和二十四年にこれを発展的に解消して創設されました。本年で四十二年を迎えます。この間、関係各位のたまごご支援、ご協力のもと、全国消防の幹部職員の教育訓練機関として、施設の整備充実はもとより、

平成十三年の年頭にあたり、消防関係者の皆様は、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

# 新春のご挨拶

秋田県警察本部 本部長 片岡義篤



平成十三年の年頭にあたり、消防関係者の皆様は、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

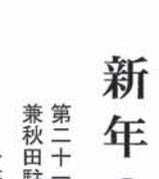
振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

平成十三年の年頭にあたり、消防関係者の皆様は、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

# 新年の御挨拶

第二十一普通科連隊長 兼秋田駐屯地司令 一等陸佐 山本 洋



御挨拶を賜り心から御礼申し上げます。

昨年は、五月二十六日県庁・能代市で行われた県民防災の日訓練、八月三十日庄市で行われた第三十八回秋田県消防訓練、九月一日の秋田県消防合演訓練等各種訓練及び県内各市町村に対する「災害派遣パンフレット」の説明・配付等を通じて自衛隊もつ災害対処能力等を広く御理解賜るとともに防災関係各機関との連携を深めることができました。また、自衛隊は各種の災害等を想定した計画を継続的に見直しつつ独自の訓練を実施し、初動対応に遅滞なきを期しているところであり、

平成十三年の年頭にあたり、消防関係者の皆様は、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

振り返れば、二十世紀には関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神・淡路大震災など、甚大な被害をもたらした災害が発生し、多くの尊い命が犠牲になりました。二十世紀を安全に明らるゝものにするためには、私たち二十世紀のために、

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車 火災報知器  
小型ポンプ スプリンクラー  
ホース 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551 40  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

# 年頭のあいさつ

秋田県市長会会長

秋田市長 石川 錬治郎



死事故や川の川中での水難事故等、都市化の進展などによる痛ましい事故も生み出しております。

このように災害が複雑多様化し、かつ発生形態も大きく変化していく中で、住民の安全に対する関心は、かつてないほど高まっております。

その一方で、私たちが取り巻く地域社会も大きく様変わりをしておりまして、高齢化や一人暮らしの増加、地域を担う若年層の減少など、新たな課題を投げかけており、消防に寄せられる期待も、ますます大きくなっております。

幸いにして、関係各位におかれましては、消防・救急資機材の近代化や広域消防応援体制の整備など、新たな消防需要に対応した防体制の整備を着実に進められておりますが、このよ

# 年頭のあいさつ

秋田県消防長会

会長 高橋 秀夫



未来に向かって前進する着実な一年としたいものであります。

さて、本県における消防は自治体消防として発足から五十有年が経過し、この間関係各位のたゆまぬ努力により組織、施設、装備等の各般にわたり着実な発展を遂げ、地域に密着した防災機関として市民から厚い信頼をいただいております。

申しあげるまでもなく県民生活の安全は各自自治体とともにも基本的な問題の一つでもあります。私たちが行政に携わる者は安全確保に注がなければなりません。一方、昨年の災害の動向を

# 年頭にあって

秋田県町村会

会長 高橋 雄七



新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

消防関係の皆様はじめ、地域住民の皆様には、町村の消防行政に對しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、消防業務の第一線で、日夜献身的に職務を遂行されております皆様には、心から敬意を表し、感謝申し上げる次第であります。

近年、地域社会を取り巻く災害は一段と複雑多様化しており、高層ビル、地下街などの増加により火災や自然災害の様相は、激しい変化を示しております。

また、本県の社会基盤の整備は着々と進み、特に簡便な交通系のネットワーク化は、生活圏の拡大など利便性の向上というメリットに反し、交通災害の増加が憂慮され安全確保に向けた対策が早急に求められているところであります。

また、消防使命達成のため、益々ご精励賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良一年でありますようお願い申し上げます。

# 年頭のあいさつ

秋田県指定水防管理団体連合協議会会長

大館市長 小畑 元



昨年八月に本県で開催された緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練では、八十六隊三九五名の参加隊員により総合的かつ実践的な訓練を行い、各隊および各隊員の連携体制の強化を図るなど、大規模化・長期化する各種災害に即応できるような成果を収め、当初の目的を終えることができました。

秋田県消防長会といたしましては、今後とも住民の期待と信頼に応えるため、新世紀に相応しい社会の動向と捉えられた消防行政を積極的に展開し、災害に強い住民の心を強力に推進したいと考えております。

結び、本年が災害の少ない平穏な年でありまして、ご多幸を祈念申し上げます。

昨年はミレニウムということで、もしかしたら世紀末の何が起ころうという不安がありました。無事に

# 年頭のあいさつ

秋田県生活環境文化部

部長 佐藤 博身



あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

消防職員や消防団員の皆様には、県民の生命、身体及び財産を守るため、日夜献身的な御努力をいたいたしております。心から感謝を申し上げます。

本年は二十世紀の扉を開けるスタートの年であり、九十年代の「失われた十年」から希望の世紀へ飛躍する第一歩として大切な年になります。社会は成熟化してハードからソフト化に重心を移し、高度情報通信を風化させることなく、より一層の防災体制の充実・強化が喫緊の課題と考えております。

本協議会といたしましては、県民生活の安全を図るべく、防災活動の一翼として全力で取り組んでおりますが、水防活動の実施に当たっては消防組織の皆様方のご活躍に依るところが大きく、今後とも進路を願うことのないよう、一層の精選を重ねてまいりますので本協議会に倍旧のご指導・ご支援のほどをお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トールポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイロ
- シンパウ
- 各種消火器

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

## 寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

織の育成、災害への備えの充実、救命救急体制の整備を二つの目標とし、今世紀の一県民のより快適で安全な生活を支えるため、総合情報防災システムや消防防炎ヘリコプターの効果的な運用を図るほか、さらに市町村をはじめ、防災関係機関、消防本部等と一体となつて、きめ細かな施策を推進してまいります。

皆様には、こうした施策に御理解をお願いいたしますとともに、今年一年の御多幸を心から祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

# 新しい年にあたって

秋田県消防学校

校長 澤木康春



明けましておめでとうございませう。二十一世紀最初の新春を消防関係の皆様とともに迎えることができました。謹んでお慶び申し上げます。年頭にあたり、消防関係の皆様には、

若者に対し敬意を申し上げることも本校の運営並びに教育訓練の実施にあたり、ご指導、ご協力を頂き心からお礼申し上げます。昨年四月に着任し、早や九月まで勤務し、二十三年間県職員として商工行政オシリーで仕事をさせていただきましたが、最後の一年が消防学校という全く未知の世界でありました。幸い、職員及び教官として消防の第一線で活躍している三消防本部派遣の優秀なスタッフがそそい、また、各消防本部職員の講師の

# 年頭にあたって

秋田県消防協会

副会長 奥山利八



新年あけましておめでとうございませう。平成十三年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年は二月後半から大雪に見舞われましたが、大きな災害火災も少なく、県内比較的平穏に経過した年であったと思います。一方、全国的には災害が群発し、東北に強い印象が与えられたと思います。昨年初頭に強くなった年であったと、台湾と東に回り込み、方にある日本列島が最も心配されておりました。昭和五十三年の北海道有珠山の噴

火から二十三年目に当たる三月二十一日不気味な余震が続く、再び噴火があり、地域に大きな打撃をあえました。住民千六百人の避難と虹田町役場から隣村に移転し、自治体の存続すら危惧されました。一方、地元消防団の活躍が大きく評価を受けました(これは)承知の通りであります。噴火も終息に向かい、地域が復興する間もなく、六月二十一日、今度は伊豆諸島三宅島雄山が噴煙を上げ、島の七割、二千六百人が避難を開始した先、新潟、式根島、神津島にて、M5以上の地震が一ヶ月間に十二回もあり、再び三宅島最大規模の噴火、有珠ガスが発生し、全島民避難するという最悪の事態になってしまいました。未だ帰島出来ず、長引くことが懸念されているのであります。又

# 年頭にあたって

秋田県消防協会

副会長 中泉松之助



平成十三年、そして新世紀の新春を迎え、全県消防関係の皆様は謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、地域社会の安全確保のために日夜を分かたず献身的に

# 年頭にあたって

秋田県消防協会

副会長 蒔苗進



あけましておめでとうございませう。平成十三年の新春を迎え、県内の消防関係の皆様は謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。連年の大なる猛威に畏敬の念を抱くとともに、災害に

一方、十月十六日鳥取県西部地震が発生し、M7.2と発表され、津波も中心に大きな被害をもたらしました。又、全国的に高湿多雨が続き、九月十一日に名古屋市では一日の雨量が四百二十八ミリと観測史上最高の記録とともに名古屋市中西区西枇杷島町を襲った大水害は、死者七名、床上浸水二万四千世帯余りの被害をもたらしました(これは)承知の通りであります。また、

特に自然災害は長期化するものも多く、人海戦術が大きなウエイトを占めることから、消防団は地域防災のリーダーとしての役割と、地域に密着した組織として住民に對しきめ細かな予防活動、啓発活動等広い分野での活動が期待されて

しかしながら、いかに大変であろうとも、果敢に諸課題に立ち向かい、希望に満ちた輝かしい社会を次世代に継承するのが我々に課せられた大きな責務ではないでしょうか。

非常備消防においては、国の消防行政重点施策の流れに沿った地域および事業場等と連携した消防活動の活性化、施設、器具等の近代化、教養訓練の充実等の積極的な推進を図っているところであり、住民の信頼にも一定程度応え得るものとも負いたしているところでもあります。

が、現状に甘んずることなく、安全で災害に強い郷土づくりを実現するため、常備、非常備の皆様が、消防精神の神髄である団結力を糧として、住民の信頼に十分に応えよう、一層の研鑽、ご協力をお願い申し上げます。終わりに、皆様ならびにご家族のますますのご健康と隆盛を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

株式会社 協立 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846  
TEL (0185) (52) 6361 (52) 6494

トーハツ自動車ポンプ 各種 消防ポンプ 各種 消防ポンプ 各種 消防ポンプ 各種 消防ポンプ 各種

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

トーハツ小型自動車ポンプ 各種 消防ポンプ 各種 消防ポンプ 各種 消防ポンプ 各種

(営業種目)

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 Ⅵ(0183) (42) 2125  
〒019-0504 十文字町本町 Ⅵ(0182) (42) 0032  
〒012-0844 湯沢市田町 Ⅵ(0183) (73) 2588

が、目を全国に転じますと、自然災害の面では、噴火災害の多発が特徴的であったと思えます。春先の北海道有珠山以降相次いだ各地での大小の噴火、そして全島民避難という事態にまで至ってしまった三宅島雄山の大噴火。この三宅島については、早めの対応で人的被害を免れたものの報道等で見聞する限りでは、今後の島での復興は全くと自負いたしているところでもあります。

また、自然災害以外では、群馬県における化学プラントの爆発火災、宮崎県での花火工場爆発事故などが発生し、痛ましい犠牲者を出しております。一昨年の東海村放射能漏れ事故なども考えあわせると自然災害あるいはそれ以外と問わす、災害発生の要因は、遠く存在していると言わざるを得ないところでもあります。

このような状況下、各種災害の大規模化、複雑化は年々加速化の様相を呈し、それに伴い地域住民の消防に寄せる期待は、増大の一途を辿っております。





# 消防秋田

## 平成十三年 春の火災予防運動

### 四月一日(日)から実施

空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となる時季を迎え、県は、市町村、関係機関、地域住民が一体となって春の火災予防運動を四月一日(日)から四月七日(土)までの一週間、全県一斉に行います。

この運動は、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生防止と死傷事故や財産の損失防止に努めることとしております。

- #### 実施要領
- 実施期間  
平成十三年四月一日(日)～平成十三年四月七日(土)まで
- 1 住宅防火対策の推進
  - 2 地域における防火安全体制の充実
  - 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
  - 4 放火・火災予防対策の推進
  - 5 林野火災予防対策の推進
  - 6 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- #### 推進事項
- 寝たきり、または一人暮らしの高齢者、身体不自由の方を住宅火災から守りましょう。  
○「住宅防火診断」を受けて、我が家の安全度をチェックしましょう。  
○住宅用火災警報器等「住宅防火安心マーク」
- 出火または延焼拡大の防止のため、防災物品や防災用品を使用しましょう。  
○家のまわりには燃えやすいものを置かないようにしましょう。  
○防火基準適合マーク(適マ)の確認をしましょう。
- 自主防災組織等により、初期消火、救出訓練、避難等を中心とした各種訓練を実施しましょう。
- 防火を防ぐため、地域による自主防火の話し合いをしましょう。  
○寝たきりまたは一人暮らしの高齢者、身体不自由等の地域ぐるみの避難協力体制を確立しましょう。
- 防火管理者を適任し、消防計画に基づき消火訓練や避難訓練を実施しましょう。  
○夜間における防火管理体制



火をつけた  
あなたの責任  
最後まで

秋田県春の火災予防運動  
4月1日～4月7日

〒010-0001 秋田市中通4丁目3-23  
秋田県消防協会  
会長 栗田 康二  
電話 018-532-3791  
FAX 018-534-2706



## 日本消防協会 平成十二年度消防車両交付式

(大内町消防団に指揮広報車)

平成十二年度共済事業消防車両等交付式が、二月八日東京都虎ノ門パストラルで行われ、本県は、大内町消防団(高野副団長)に指揮広報車(交付決定書代表受領)が交付された。



## 第五十三回 日本消防協会定例表彰式

平成十一年度日本消防協会定例表彰の伝達式が、二月九日、東京都本消防会館ニッシーホールで行われた。表彰式には全国各都道府県から被表彰者(代表、関係者が多数参加し盛大に行われた。本県関係では、表彰旗(消防団一本、婦人消防隊二本、羊頭標二本、功労章二七個、精進章五五個、優良婦人消防隊員一個が受章された。表彰式には優良消防団として表彰旗を受賞された河辺町消防団(佐藤団長)が参加した。

また、他の受賞については、三月二十一日秋田県正庁において行われる平成十二年度消防功労者表彰式において伝達されます。



## ◎能代市山本郡支部

能代市消防団(待田勇蔵団長)は、二月四日、能代地区消防署で消防団に代入して間もない若手団員を対象に研修会を開催した。この研修会は団員の意識の高揚と団員としての必要な基本事項を学ぶために毎年開かれており、今年で二十四回を数える。

この日は市内の消防団から二十五名が参加し、消防団の組織、福利厚生、消防ポンプ、応急処置法、消防訓練礼式などについて能代地区消防署の署員を講師に研修した。

礼式の訓練は、規律や秩序を重んじる消防団にとって基本かつ重要なものであるため、団員らは号令、部隊整列や敬礼などを確実にこなすよう何度も繰り返して厳正な規律を身につけていた。

また、応急措置では心肺蘇生法を体験し、ダミー人形を使って人工呼吸や心臓マッサージに挑戦した。同署救急救命士の救急車が来るまでの間に、近場の団員が市民のリーダーとなって一人でも多くの命を救ってほしいといった言葉をかみしめながら、消防団員としての自覚を新たにしていた。



## ◎大館北秋田支部

大館北秋田支部(時田進支部長)は、二月二十五日(日)鷹巣町(鷹巣阿仁広域交流センター)において、平成十一年度中堅幹部及び初任団員の研修(午前教養・午後実技)を行った。この研修は、消防団員に対し、消防精神の涵養を図り、団員として必要な教養と規律の実技を教育目的として、毎年実施しており、一市七町村の各消防団から中堅幹部が一〇四名、初任団員一〇名が参加した。今回は、教養、実技

研修のほか、団員の福祉厚生事業の一つである互助年金についての説明を多岐にわたって行われた。

取り入れ、日本消防協会から沢田年金課長補佐を招へいするなど、みのり多い研修が行われた。

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

## 寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンバロ	ホース
トータツポンプ	シバウ	パイロン
各種消防機械器具	各種	消火器
各種消防設備保守	各種	各種

## ◎男鹿南秋支部

井川町消防団(宮谷繁団長)は、二月二十六日(月)井川町役場大会議室において、互助年金の説明会を行った。説明会には、日本消防協会から沢田年金課長補佐を招へいし、制度の概要について詳しい説明を受け、活発な質疑応答が交わされた。研修は団員の仕事の都合もあって、午後六時三十分から行い約三十名の団員が参加した。

# 平成12年度 防火ポスター入選作決定

平成12年度防火ポスターコンクール(主催・秋田県消防防協会后援・秋田県教育委員会・秋田県新聞社)の入選作が決まりました。

県内の小中学校を対象に、防火意識を高めてもらうと毎年行っており、三十一回目の今年からは、小学校の部に十八校、中学校の部に八校から七四点の応募がありました。審査の結果次のように入選されました。入選作品は、三月二十四日から四月八日まで秋田駅東西自由通路、通称「ぼろーど」に展示し、その後秋田県消防学校防災センター(岩城町道川字築館)に一年間展示いたします。

◎審査員  
佐々木信吾(前秋田南中学校校長・元秋田市造形教育研究会長)  
山上 秀樹(秋田魁新報社文化部長)  
秋田県 秋田県消防協会 ◎審査員(佐々木信吾)

防火意識の向上と安全な市民生活への願いなど、見る人々に、訴えたいことが強く伝わってきます。  
「何を訴えたいのか、伝えたいのか」というテーマ性が明確であることが、この種ポスターの命なのです。特に、中学生が十分構想の中で画面構成や色調などを明快に整理したシャープな力作をたくさん見せてくれました。

小学生も低・中・高学年なりに豊かな感性を適切な表現方法で、秀作をまとめていきます。

○入選作品  
【小学生の部】  
1 席 3年 佐々木 望  
「なんでも食べちゃう火のおぼけ」はいかにも小学校中学年らしい素直で機巧的な力作です。  
2 席 5年 佐川 奈美

「火つけるも消すも、あなたの手」はテーマを焦点化して強くまとめています。  
5年 茂木 寿樹

「二つの火は、二つの炎」は、月夜に延焼の恐ろしさを訴えています。  
3 席 3年 金持 梢  
鋭い観察で確かな技法で表現しております。  
3年 田村 幸  
中間が美しくみごとな色調です。  
6年 安保 有由里

【中学校の部】  
1 席 2年 大西 順子  
画面中央にマッチの炎をシンボリックに大きく表現、濃紺のバックにポスターカラーの筆跡を効果的に生かした炎や白のレタリング等、シャープで明快なポスターであります。  
2 席 2年 高橋 佑衣  
「便利さ、ある時は炎と化す」は、日常化しているタコ足配線を警告、デザイン、色調、コピー(文字)から、明視度抜群の傑作であります。  
2年 安達 沙紀  
「かちかち山にならいたい」ですか!と昔話風にユーモラスにまとめ、図柄(タヌキの表情等)や色調もみごとであります。  
3 席 1年 高橋 大輔  
「煙の恐怖知っていますか」と啓発、煙(悪魔)の表現もみごとです。  
2年 伊藤 早苗  
「大切なものがなくなる前には、じっくり構想しモダンにまとめた高技レベルの傑作です。」  
2年 阿部 史恵  
計算された技法での確に表現、右上の電話中の母の姿がユニークな表現となつた。



(1席) 仙北町立仙北南小学校 3年 佐々木 望 君



(3席) 協和町立定川小学校 3年 金持 梢 さん



(2席) 協和町立船岡小学校 5年 佐川 奈美 さん



(3席) 仙北町立仙北南小学校 3年 田村 幸 さん



(2席) 協和町立福沢小学校 5年 茂木 寿樹 君



(3席) 鹿角市立花輪北小学校 6年 安保 有由里 さん



(1席) 大田町立大田中学校 2年 大西 順子 さん



(2席) 中仙町立中仙中学校 2年 高橋 佑衣 さん



(2席) 大田町立大田中学校 2年 安達 沙紀 さん



(3席) 秋田市立豊野中学校 2年 伊藤 早苗 さん



(2席) 湯沢市立湯沢南中学校 2年 阿部 史恵 さん



(3席) 湯沢市立湯沢南中学校 2年 阿部 史恵 さん

**新団長紹介**  
南秋田郡大瀨村消防団  
団長 菅生 金作



(す) う・きんさく  
昭和二十二年七月二十九日生まれ、五十三才。昭和四十四年一月一日入団。班長、副班長、副分団長、分団長、副団長を経て、平成十三年二月一日団長に就任。(農業)



雄勝郡雄勝町消防団  
団長 金子 哲雄  
(かねてつお)  
昭和十五年六月八日生まれ、六十才。昭和三十一年一月一日入団。班長、副分団長、分団長、副団長を経て、平成十三年一月一日団長に就任。(酒類、肥料、農業、米穀集荷販売業)

**【訂正】**  
消防秋田2月号の平成十三年度秋田県消防学校教育訓練計画を掲載しましたが、一部変更があったので訂正させて頂きました。  
中級幹部科 日数3を5に、時期14・1・16を1・18をH14・2・4をH14・2・8に、時間数21を33に、実日数3を5に、幹部教育時期H14・2・13を2・15をH14・1・16をH14・1・18にご訂正願います。

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ノース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 電話016-0846  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

**消防 設備**  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

**猿田興業株式会社**  
秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服 全般  
消防器具 全店  
秋田県代理

総合防災設備センター

**株式会社 高義商会**

(営業種目)  
トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服 全般  
消火器 各種  
火災報知器 各種

〒012-0111 本社 秋田県雄勝川町 TEL(0183)(42)2125  
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182)(42)0032  
〒012-0844 湯沢市市町 TEL(0183)(73)2588